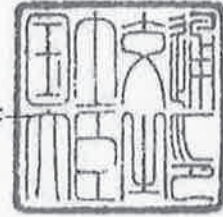


認定書

国住指第 1668 号
平成 30 年 9 月 11 日

株式会社 LIXIL
取締役社長 瀬戸 欣哉 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-3762(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
硬質ウレタンフォーム板充てん／窯業系サイディング・構造用面材〔木質系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

硬質ウレタンフォーム板充てん/窯業系サイディング・構造用面材 [木質系ボード又は火山性ガラス質複層板] 表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
壁高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)真壁の場合 138 \pm 3以上 (2)大壁の場合 147.5 \pm 3以上
壁の構造	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)真壁 (2)大壁

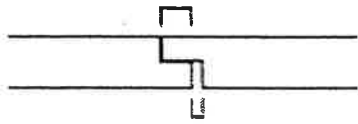
3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
①柱(荷重支持部材)	・規格 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・密度 0.38 \pm 0.08g/cm ³ 以上 ・断面形状 100×100の断面寸法以上 ・欠き込み幅 内装材+0.5以下(真壁のみ) ・欠き込み深さ 15以下(真壁のみ)
②パネル間柱	木(製材または集成材) ・断面形状 24×60の断面寸法以上 ・間隔 500以下
③胴縁	木(製材または集成材) ・断面形状 15×45の断面寸法以上 ・間隔 500以下
④パネル枠	木(製材または集成材) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)あり ・断面形状 2×40の断面寸法以上 (2)なし
⑤内装受材	木(製材または集成材) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)あり(大壁の場合に限る) ・断面形状 30×100の断面寸法以下 ・間隔 1000以下 (2)なし

項 目	仕 様										
6 外装材	<p>窯業系サイディング</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) パルプ繊維混入セメント板</p> <p>[1] 基材</p> <p>パルプ繊維混入セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組成(質量%) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">セメント質原料</td> <td style="padding-left: 20px;">70\pm7~84\pm8</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">有機質繊維</td> <td style="padding-left: 20px;">4\pm2~12\pm2</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">有機質混和材</td> <td style="padding-left: 20px;">0~2\pm1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">無機質繊維</td> <td style="padding-left: 20px;">0~1\pm1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">無機質混和材</td> <td style="padding-left: 20px;">3\pm1~20\pm3</td> </tr> </table> 但し、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 混和材料 <ul style="list-style-type: none"> 有機質：パルプ粉、撥水剤等 無機質：マカ、無機質骨材等 <p>[2] 表面塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材質 (1)~(12)のうち、いずれか一仕様とする <p>(1) アクリルウレタン樹脂系塗料</p> <p>(2) アクリル樹脂系塗料</p> <p>(3) アクリルシリコン樹脂系塗料</p> <p>(4) フッ素樹脂系塗料</p> <p>(5) エポキシ樹脂系塗料</p> <p>(6) ポリシロキサン系塗料</p> <p>(7) ポリウレタン樹脂系塗料</p> <p>(8) イソシアネート樹脂系塗料</p> <p>(9) シリコン樹脂系塗料</p> <p>(10) 塩化ビニル樹脂系塗料</p> <p>(11) ポリエステル樹脂系塗料</p> <p>(12) 無機系塗料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 塗布量 180g/m²以下 (有機固形分) <p>[3] かさ比重 1.00\pm0.2(絶乾)以上</p> <p>[4] 形状</p> <p>[4]-1 外形寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚 さ 14\pm1.4~25\pm2.0 ・ 幅 455\pm3.0~1000\pm3.0 <p>[4]-2 端部形状</p> <p>サイディング相互の重なりと隙間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重なり 8 以上 ・ 隙 間 1 以下 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>[4]-3 断面形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最小厚さ 11\pm1.0 以上を確保 ・ 容積欠損率(模様深さ)(%) 10 以下 <p>(但し、板厚 14mm を超える場合は裏面から 14mm 以下の模様による欠損率とする)</p>	セメント質原料	70 \pm 7~84 \pm 8	有機質繊維	4 \pm 2~12 \pm 2	有機質混和材	0~2 \pm 1	無機質繊維	0~1 \pm 1	無機質混和材	3 \pm 1~20 \pm 3
セメント質原料	70 \pm 7~84 \pm 8										
有機質繊維	4 \pm 2~12 \pm 2										
有機質混和材	0~2 \pm 1										
無機質繊維	0~1 \pm 1										
無機質混和材	3 \pm 1~20 \pm 3										

項 目	仕 様																				
6 外装材 (つづき)	<p>[4]-4 水密材 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)合成ゴム 使用量 5g/m 以下</p> <p>[5]張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)横張 (2)縦張</p> <p>[6]固定方法 くぎ又はねじ留め</p> <p>(2) 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板</p> <p>[1]基材 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板 ・組成(質量%)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">セメント質原料(セメント, けい酸質原料)</td> <td style="padding-left: 10px;">70±4</td> <td style="padding-left: 10px;">～</td> <td style="padding-left: 10px;">79±4</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">木繊維(木片, 木繊維, 木質系繊維等)</td> <td style="padding-left: 10px;">11±1</td> <td style="padding-left: 10px;">～</td> <td style="padding-left: 10px;">15±1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">無機質系混和材(マイカ, 無機質系骨材等)</td> <td style="padding-left: 10px;">4±1</td> <td style="padding-left: 10px;">～</td> <td style="padding-left: 10px;">14±1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">有機質系混和材(パルプ粉, ポリスチレンビーズ等)</td> <td style="padding-left: 10px;">1±1</td> <td style="padding-left: 10px;">～</td> <td style="padding-left: 10px;">3±1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">無機質系繊維(ガラス繊維等)</td> <td style="padding-left: 10px;">0</td> <td style="padding-left: 10px;">～</td> <td style="padding-left: 10px;">1±1</td> </tr> </table> <p>[2]表面塗装 ・材質 (1)～(12)のうち、いずれか一仕様とする (1)アクリルウレタン樹脂系塗料 (2)アクリル樹脂系塗料 (3)アクリルシリコーン樹脂系塗料 (4)フッ素樹脂系塗料 (5)エポキシ樹脂系塗料 (6)ポリシロキサン系塗料 (7)ポリウレタン樹脂系塗料 (8)イソシアネート樹脂系塗料 (9)シリコーン樹脂系塗料 (10)塩化ビニル樹脂系塗料 (11)ポリエステル樹脂系塗料 (12)無機系塗料 ・塗布量 185g/m²以下(表裏合計有機固形分)</p> <p>[3]かさ比重 1.15±0.15g/cm³(絶乾)以上</p> <p>[4]形状</p> <p>[4]-1 外形寸法 ・厚 さ 14±1.4～25±2.0 ・幅 455±3.0～1000±3.0</p> <p style="text-align: center;">重なり</p>  <p style="text-align: center;">隙間</p> <p>[4]-2 端部形状 サイディング相互の重なりと隙間 ・重なり 8以上 ・隙間 1以下</p>	セメント質原料(セメント, けい酸質原料)	70±4	～	79±4	木繊維(木片, 木繊維, 木質系繊維等)	11±1	～	15±1	無機質系混和材(マイカ, 無機質系骨材等)	4±1	～	14±1	有機質系混和材(パルプ粉, ポリスチレンビーズ等)	1±1	～	3±1	無機質系繊維(ガラス繊維等)	0	～	1±1
セメント質原料(セメント, けい酸質原料)	70±4	～	79±4																		
木繊維(木片, 木繊維, 木質系繊維等)	11±1	～	15±1																		
無機質系混和材(マイカ, 無機質系骨材等)	4±1	～	14±1																		
有機質系混和材(パルプ粉, ポリスチレンビーズ等)	1±1	～	3±1																		
無機質系繊維(ガラス繊維等)	0	～	1±1																		

項 目	仕 様
6 外装材 (つづき)	<p>[4]-3 断面形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最小厚さ 10\pm1.0以上を確保 ・容積欠損率(模様深さ)(%) 10以下 (但し、板厚14mmを超える場合は裏面から14mm以下の模様による欠損率とする) <p>[4]-4 水密材</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) なし (2) 合成ゴム 使用量 5g/m以下 <p>[5]張方</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 横張 (2) 縦張 <p>[6]固定方法</p> <p>くぎ又はねじ留め</p>
7 構造用面材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 木質系ボード</p> <p>1)~4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) 構造用合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>2) 構造用パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>3) ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 9以上 ・密度 0.70g/cm³以上 <p>4) パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9以上 <p>(2) 火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5440 ・厚さ 9以上

項 目	仕 様																																																							
8 断熱材	<p>硬質ウレタンフォーム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 大壁の場合 充てん 50~100\pm10 外張 0~100\pm10 内張 0~100\pm10 真壁の場合 充てん 50~75\pm10 外張 0~100\pm10 ・密度 38~57\pm5kg/m³ ・酸素指数 20\pm2 以上 ・イソシアネート指数 90 以上 ・組成 原料組成 (質量%) は、(1)~(5)のうち、いずれか一仕様とする <p>(1)</p> <table border="0"> <tr><td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td><td>ポリイソシアネート</td><td>59\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>32\pm4</td></tr> <tr><td>水</td><td>2$^{+3,-2}$</td></tr> <tr><td>難燃剤 (リン酸エステル系)</td><td>5\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2$^{+3,-2}$</td></tr> </table> <p>(2)</p> <table border="0"> <tr><td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td><td>ポリイソシアネート</td><td>57\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>31\pm4</td></tr> <tr><td>水</td><td>2$^{+3,-2}$</td></tr> <tr><td>難燃剤 (リン酸エステル系)</td><td>8\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2$^{+3,-2}$</td></tr> </table> <p>(3)</p> <table border="0"> <tr><td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td><td>ポリイソシアネート</td><td>57\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>36\pm4</td></tr> <tr><td>難燃剤 (リン酸エステル系)</td><td>5\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2$^{+3,-2}$</td></tr> <tr><td>発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)</td><td>0~24\pm3 (外割)</td></tr> </table> <p>(4)</p> <table border="0"> <tr><td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td><td>ポリイソシアネート</td><td>55\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>34\pm4</td></tr> <tr><td>難燃剤 (リン酸エステル系)</td><td>9\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2$^{+3,-2}$</td></tr> <tr><td>発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)</td><td>0~24\pm3 (外割)</td></tr> </table> <p>(5)</p> <table border="0"> <tr><td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td><td>ポリイソシアネート</td><td>62\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>30\pm4</td></tr> <tr><td>難燃剤 (リン酸エステル系)</td><td>5\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>3\pm3</td></tr> <tr><td>発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)</td><td>0~24\pm3 (外割)</td></tr> </table>	{	ポリイソシアネート	59 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	32 \pm 4	水	2 $^{+3,-2}$	難燃剤 (リン酸エステル系)	5 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$	{	ポリイソシアネート	57 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	31 \pm 4	水	2 $^{+3,-2}$	難燃剤 (リン酸エステル系)	8 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$	{	ポリイソシアネート	57 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	36 \pm 4	難燃剤 (リン酸エステル系)	5 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$	発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)	{	ポリイソシアネート	55 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	34 \pm 4	難燃剤 (リン酸エステル系)	9 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$	発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)	{	ポリイソシアネート	62 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	30 \pm 4	難燃剤 (リン酸エステル系)	5 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	3 \pm 3	発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)
{	ポリイソシアネート		59 \pm 6																																																					
	ポリエーテル系ポリオール		32 \pm 4																																																					
	水		2 $^{+3,-2}$																																																					
	難燃剤 (リン酸エステル系)		5 \pm 2																																																					
	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$																																																						
{	ポリイソシアネート	57 \pm 6																																																						
	ポリエーテル系ポリオール	31 \pm 4																																																						
	水	2 $^{+3,-2}$																																																						
	難燃剤 (リン酸エステル系)	8 \pm 2																																																						
	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$																																																						
{	ポリイソシアネート	57 \pm 6																																																						
	ポリエーテル系ポリオール	36 \pm 4																																																						
	難燃剤 (リン酸エステル系)	5 \pm 2																																																						
	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$																																																						
	発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)																																																						
{	ポリイソシアネート	55 \pm 6																																																						
	ポリエーテル系ポリオール	34 \pm 4																																																						
	難燃剤 (リン酸エステル系)	9 \pm 2																																																						
	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 $^{+3,-2}$																																																						
	発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)																																																						
{	ポリイソシアネート	62 \pm 6																																																						
	ポリエーテル系ポリオール	30 \pm 4																																																						
	難燃剤 (リン酸エステル系)	5 \pm 2																																																						
	ウレタン化触媒、製泡剤など	3 \pm 3																																																						
	発泡剤 (HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)																																																						

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
9 内装材	せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5 以上 ・端部処理 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)スクエア (2)ベベル (3)テーパ

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
① 目地材	<p>目地は[1]～[7]のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>[1]シール材</p> <p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)変成シリコン系シーリング材</p> <p>(2)ポリウレタン系シーリング材</p> <p>(3)ポリサルファイド系シーリング材</p> <p>(4)塩化ビニルガスケット</p> <p>・規格 JIS A 5756</p> <p>(5)合成ゴムガスケット</p> <p>・規格 JIS A 5756</p> <p>・使用量 59.6g/m以上 ([2]又は[3]との併用の場合は56g/m以上)</p> <p>[2]バックアップ材 ([1]との併用に限る)</p> <p>・材質 (1)～(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)ポリエチレン系樹脂</p> <p>(2)ポリスチレン系樹脂</p> <p>・使用量 3.6±3g/m以上</p> <p>[3]ハット型ジョイナー</p> <p>(1)～(19)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312)</p> <p>(2)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)</p> <p>(3)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697)</p> <p>(4)溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302)</p> <p>(5)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317)</p> <p>(6)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318)</p> <p>(7)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321)</p> <p>(8)ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く)</p> <p>(9)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)</p> <p>(10)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)</p> <p>(11)溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウムめっき鋼板</p> <p>(12)溶融亜鉛-11%アルミニウム-3%マグネシウム-0.2%シリコン合金めっき鋼板</p>

項 目	仕 様
①目地材(つづき)	<p>(13)ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 (14)一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) (15)冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141) (16)熱間圧延軟鋼板及び鋼帯(JIS G 3131) (17)電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313) (18)溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 および鋼帯(JIS G 3323) (19)建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき 鋼板(国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、 0070、0362 及び 0395)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 0.27 以上 ・幅 40 以上 <p>[4]水切りジョイナー <ul style="list-style-type: none"> ・材料は、[3](1)～(19)の仕様 ・厚さ 0.27 以上 ・幅 40 以上 <p>[5]なし 本実・合じゃくり又は突き付け目地の場合</p> <p>ただし、充てん+外張り断熱の場合、サイディング横張りの 目地部は、[3]又は[7]とする。</p> <p>[6] [1]のシール材と[2]のバックアップ材の併用 [7] [1]のシール材と[3]のハット型ジョイナーの併用</p> </p>
②防水紙	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)アスファルトフェルト <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6005 ・単位面積質量 430g/m² 以下 <p>(2)透湿防水シート <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 6111 ・厚 さ 0.5 以下 <p>(3)なし</p> </p></p>

項 目	仕 様
③くぎ・ねじ	<p>[1]パネル用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.75$ 以上$\times L50$ 以上 ・間隔 150 以下</p> <p>(2)くぎとねじの併用 くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.75$ 以上$\times L50$ 以上 ・間隔 150 以下 ねじ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.75$ 以上$\times L50$ 以上 ・間隔 300 以下</p> <p>[2]外装材留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.3$ 以上$\times L40$ 以上 ・間隔 外装材働き幅方向 203 以下</p> <p>(2)ねじ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.3$ 以上$\times L40$ 以上 ・間隔 外装材働き幅方向 203 以下</p> <p>[3]内装材用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.34$ 以上$\times L38.1$ 以上 ・間隔 周辺部 150 以下、中間部 200 以下</p> <p>(2)ねじ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.34$ 以上$\times L38.1$ 以上 ・間隔 周辺部 150 以下、中間部 200 以下</p>

項 目	仕 様
③くぎ・ねじ (つづき)	<p>[4]胴縁用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.1$ 以上×L45 以上 ・間隔 500 以下 (2)ねじ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.1$ 以上×L45 以上 ・間隔 500 以下</p> <p>[5]ハット型ジョイナー用 くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.3$ 以上×L40 以上 ・間隔 1000 以下</p> <p>[6]防水紙、防湿シート用 ステーブル ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 幅 10 以上×長さ 6 以上 ・間隔 500 以下</p>
④隙間補修材 A	<p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様または組合せとする (1)EPDM系 ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 (2)ポリエチレン付きEPDM系 ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 (3)塩化ビニル系 ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 (4)なし</p>
⑤隙間補修材 B	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様または組合せとする (1)EPDM系 ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 (2)ブチル系 ・使用量 240g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 (3)なし</p>

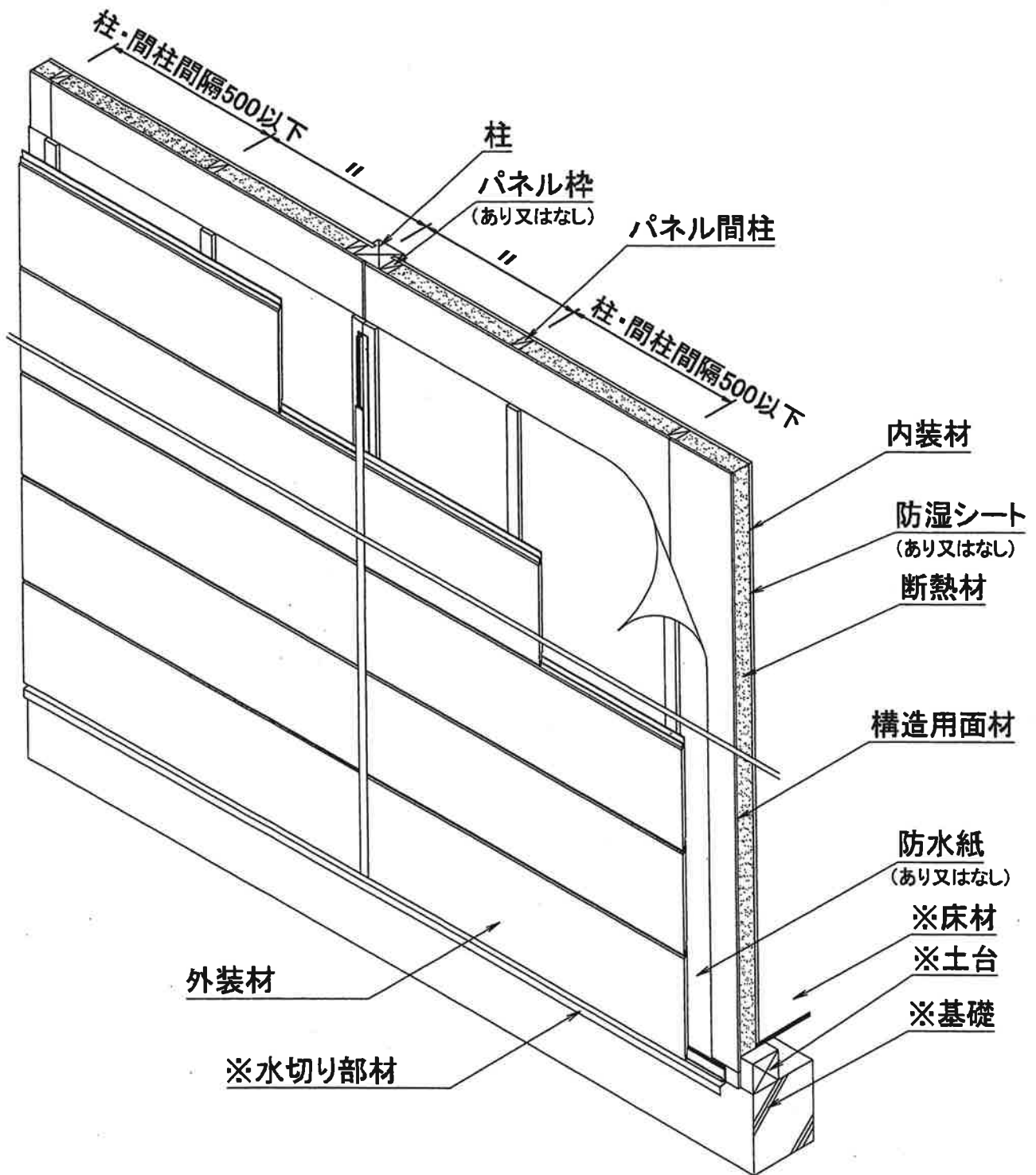
(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
⑥内装材用目地処理材	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様または組合せとする (1)ジョイントコンパウンド ・使用量 10g/m 以上 (2)ガラス繊維テープ ・寸法 幅 30 以上×厚さ 0.02 以上 (3)なし
⑦防湿シート	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)ポリエチレン系 ・厚 さ 0.2 以下 (2)なし

4. 構造説明図

(寸法単位:mm)

外装材横張・真壁(欠き込みあり)の場合

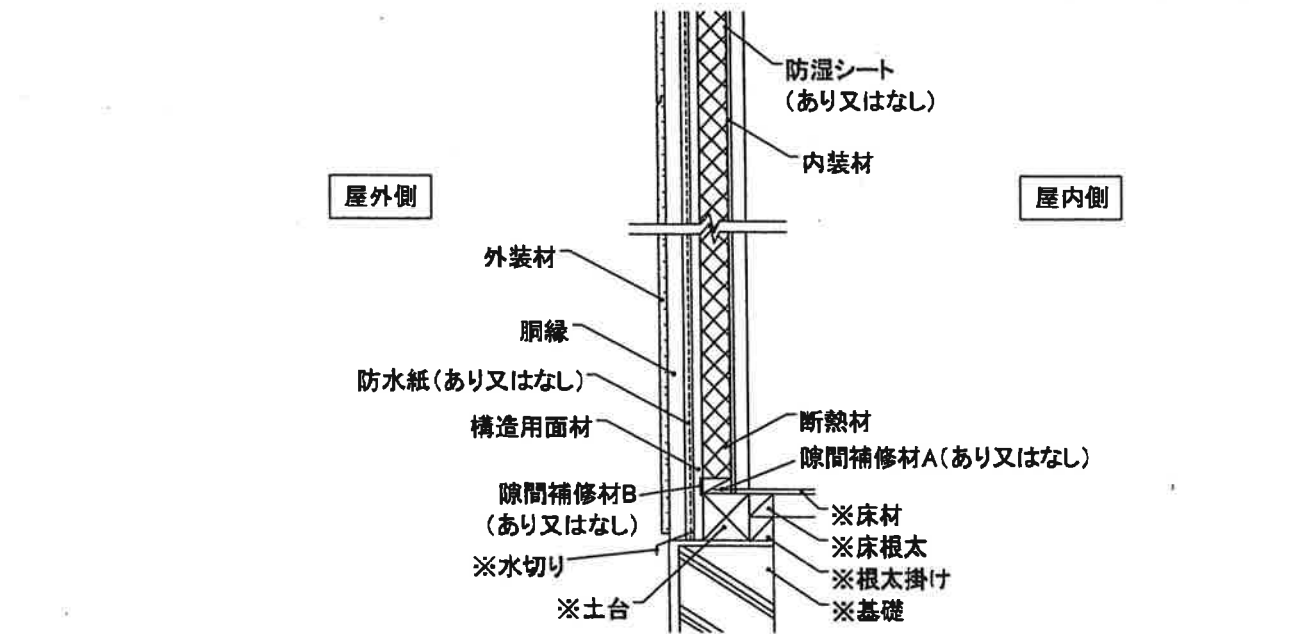


透視図

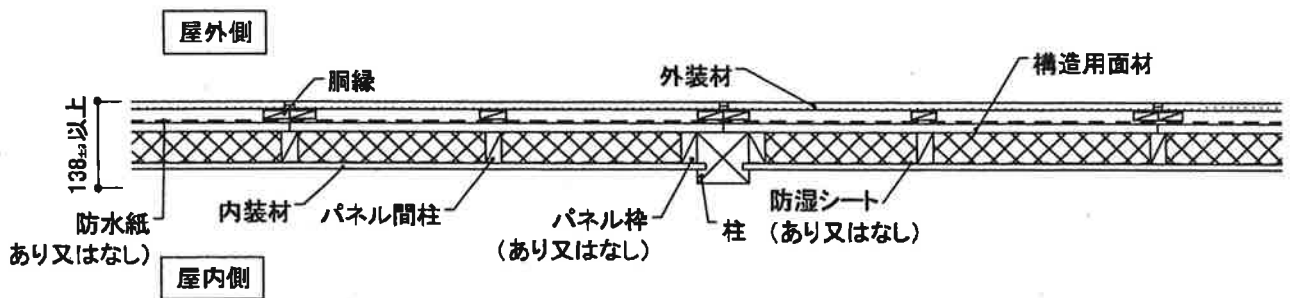
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

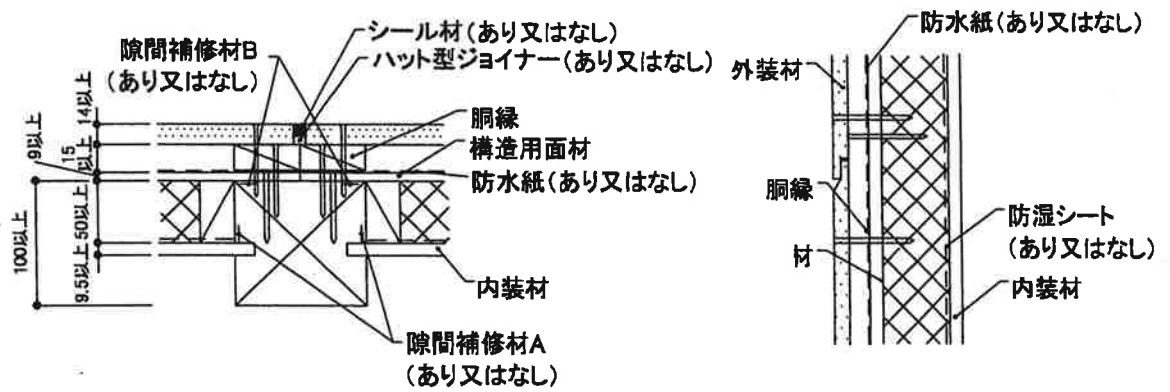
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



水平断面図

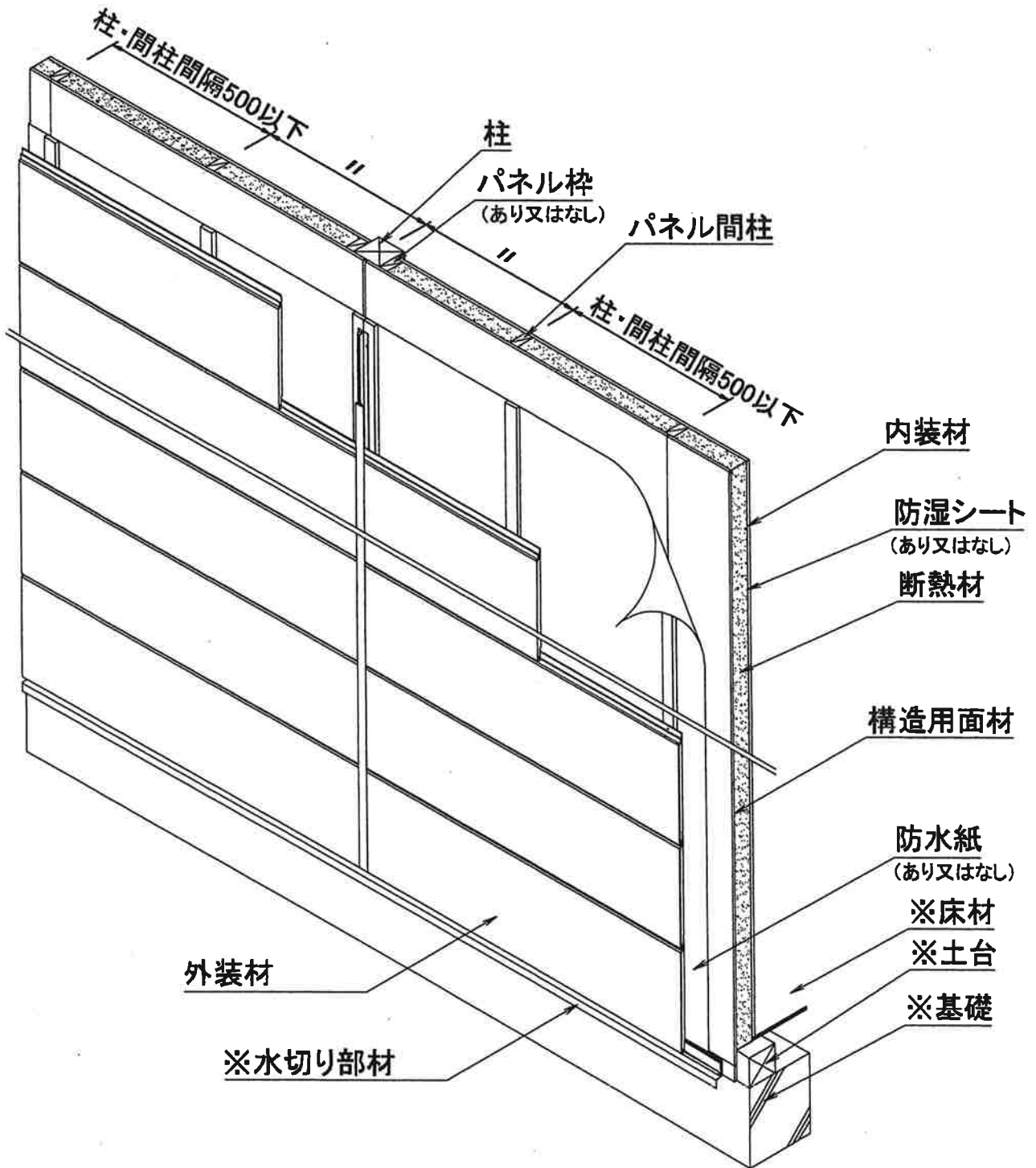


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

外装材横張・真壁(欠き込みなし) の場合

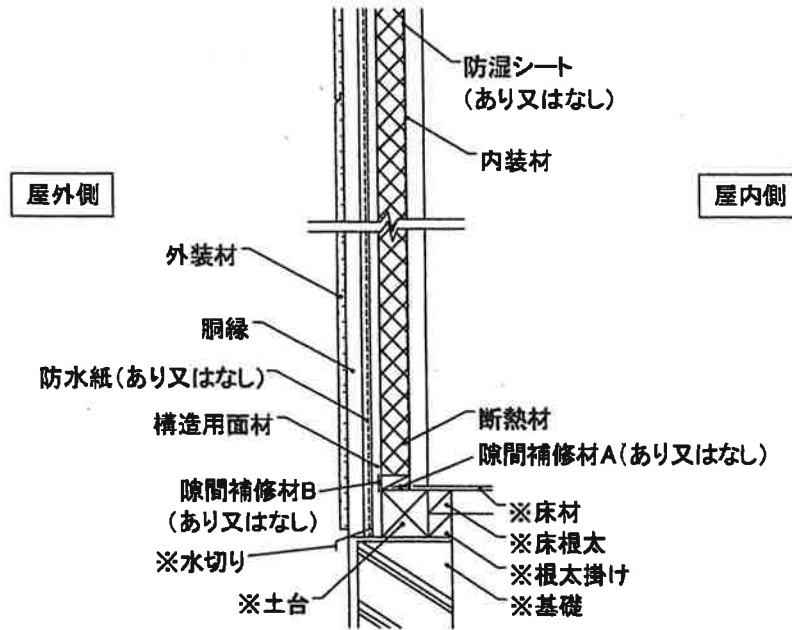


透視図

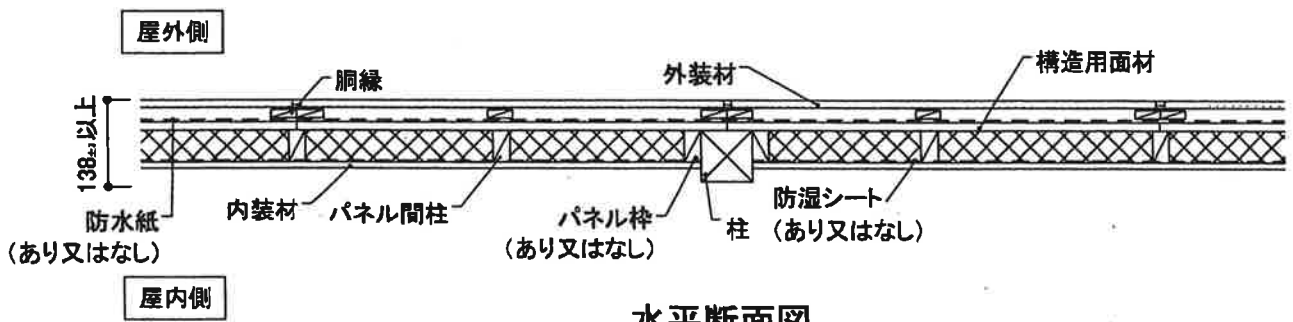
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

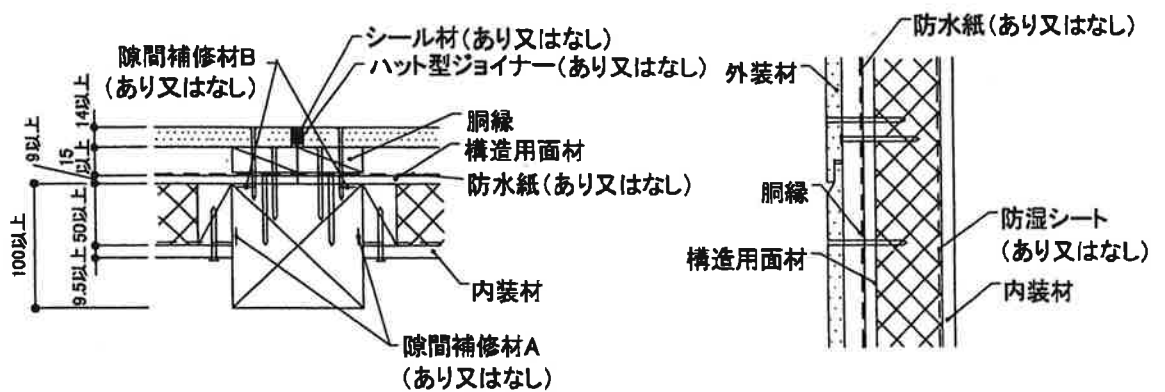
外装材横張・真壁(欠き込みなし)の場合



鉛直断面図



水平断面図

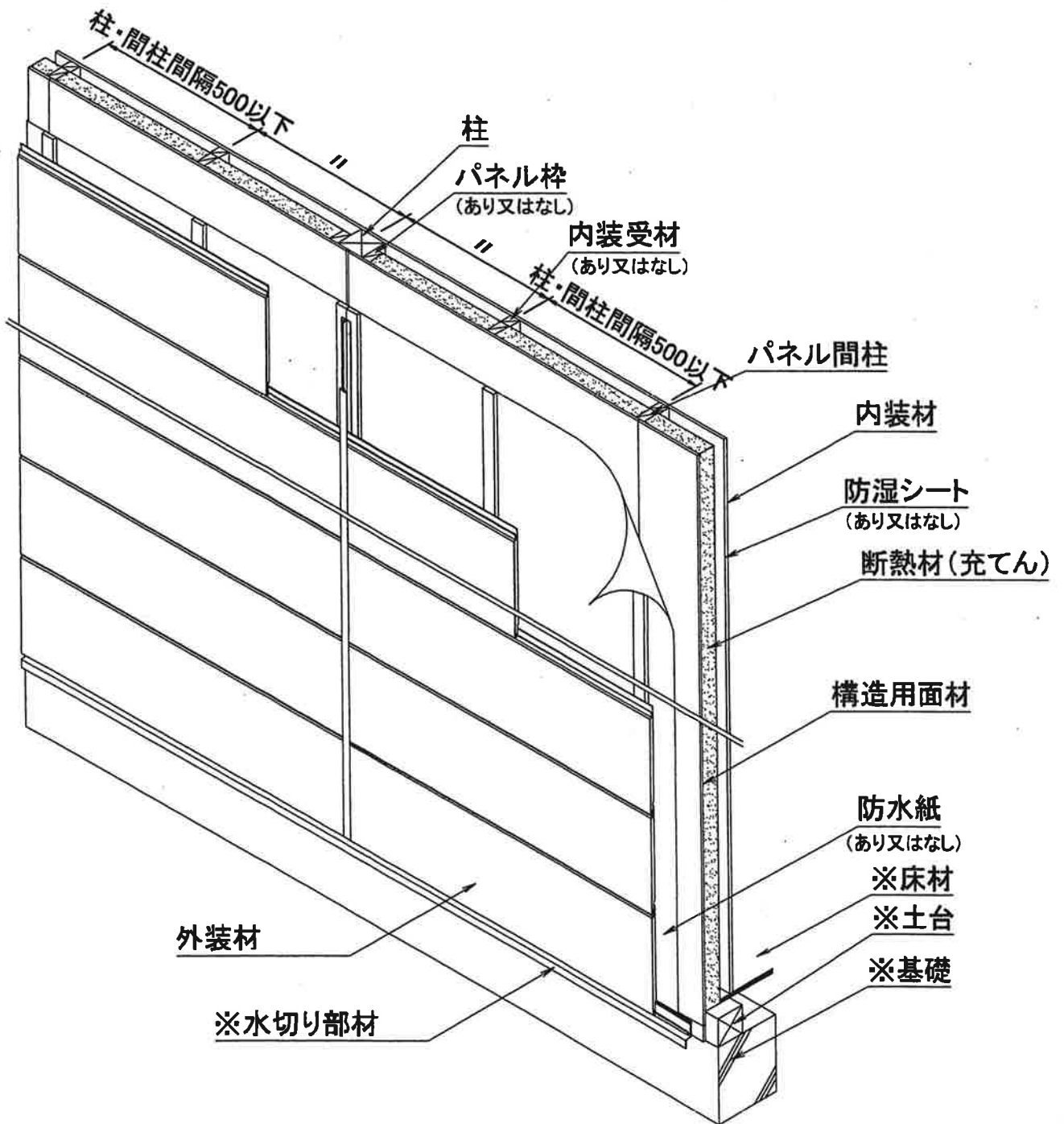


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

外装材横張・大壁の場合

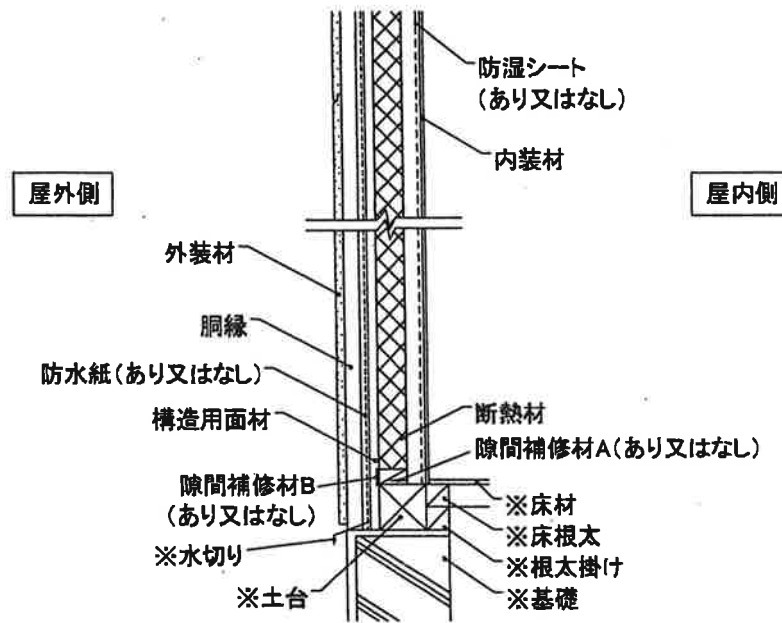


透視図

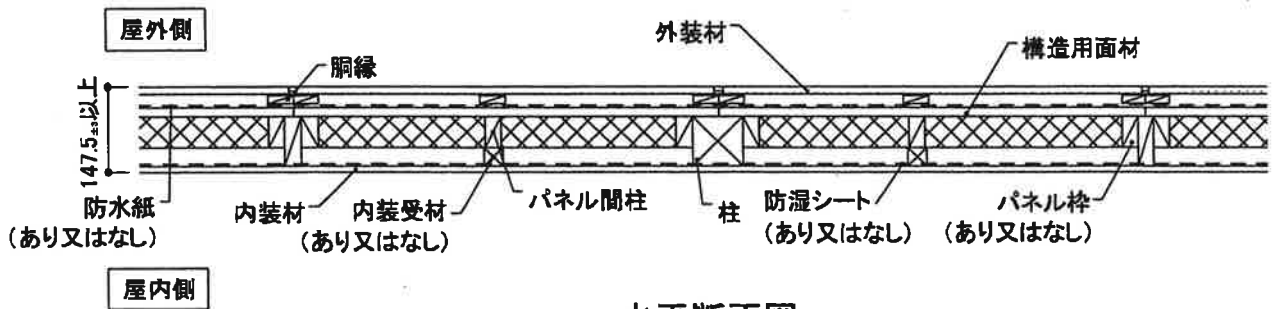
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

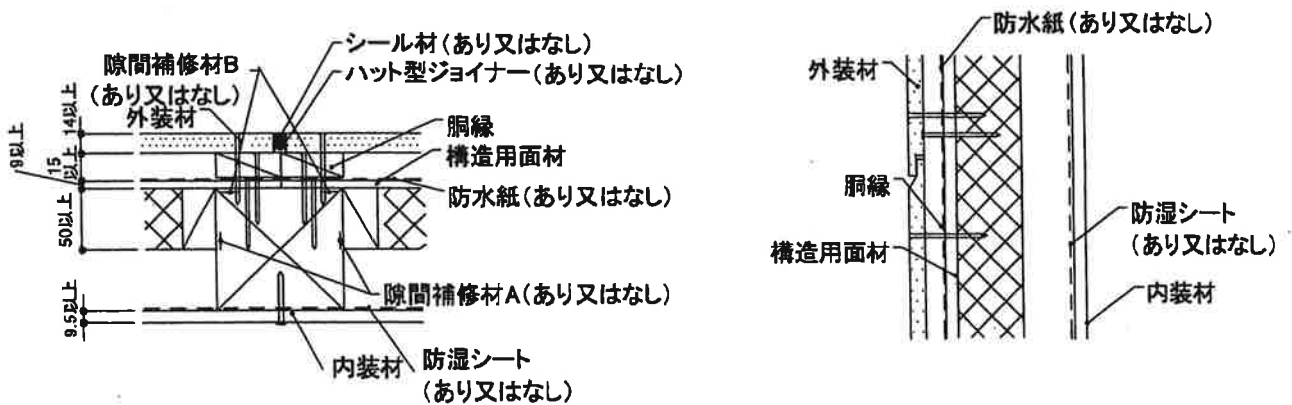
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



水平断面図

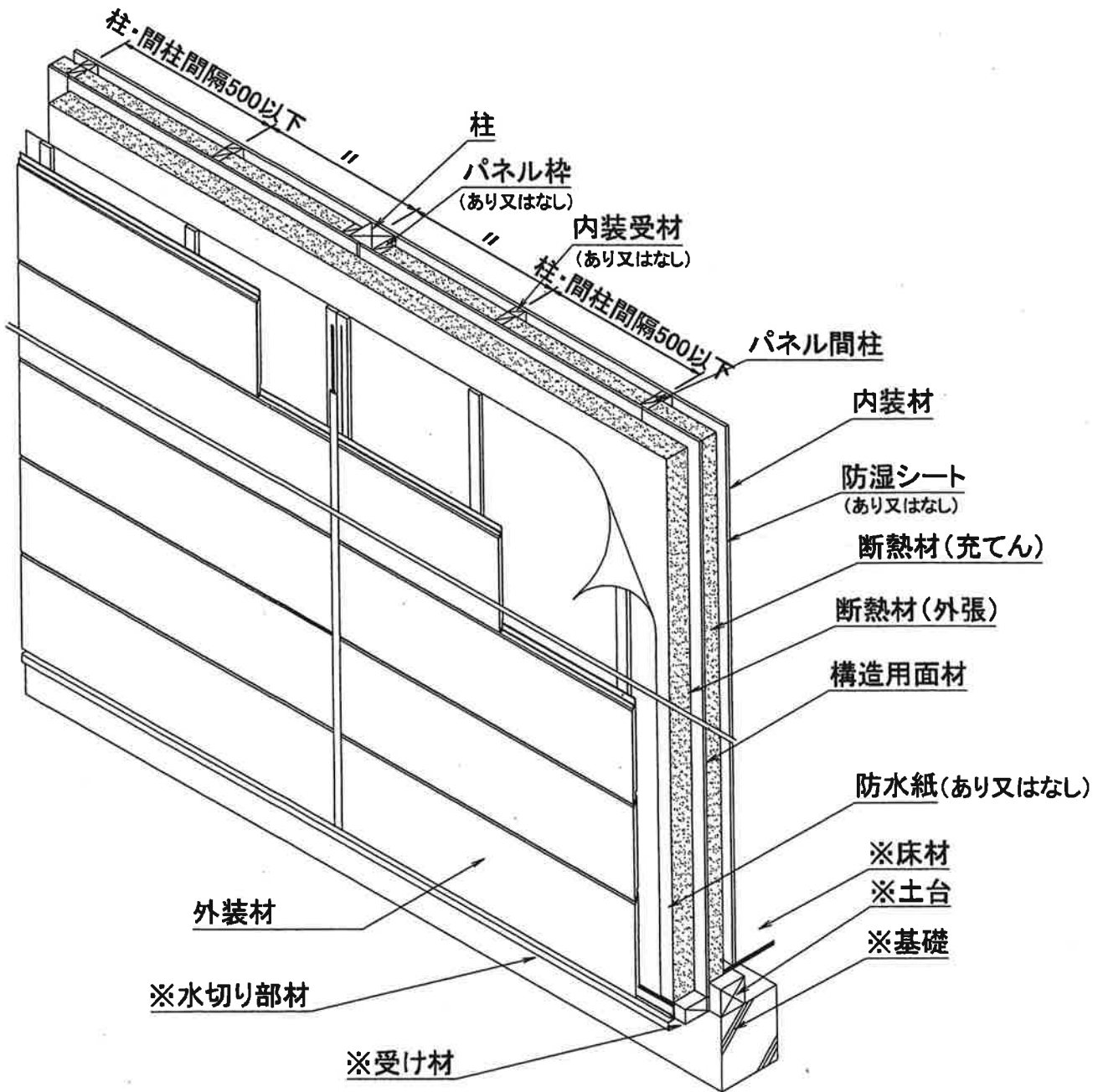


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

外装材横張・大壁（断熱材：充填+外張）の場合

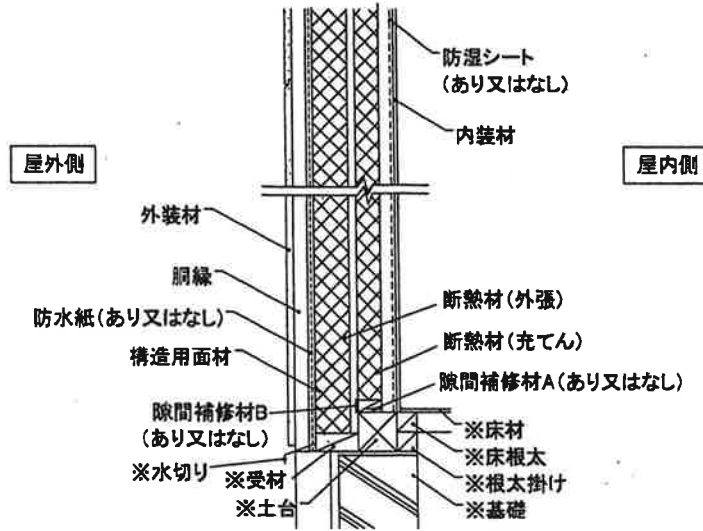


透視図

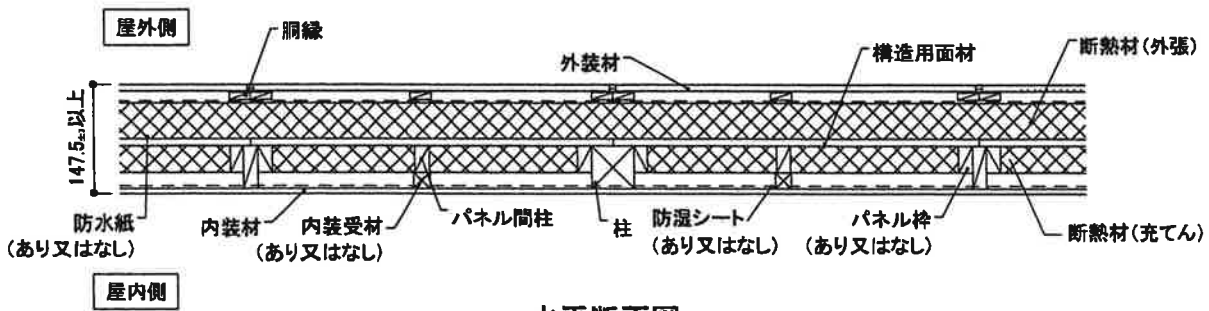
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

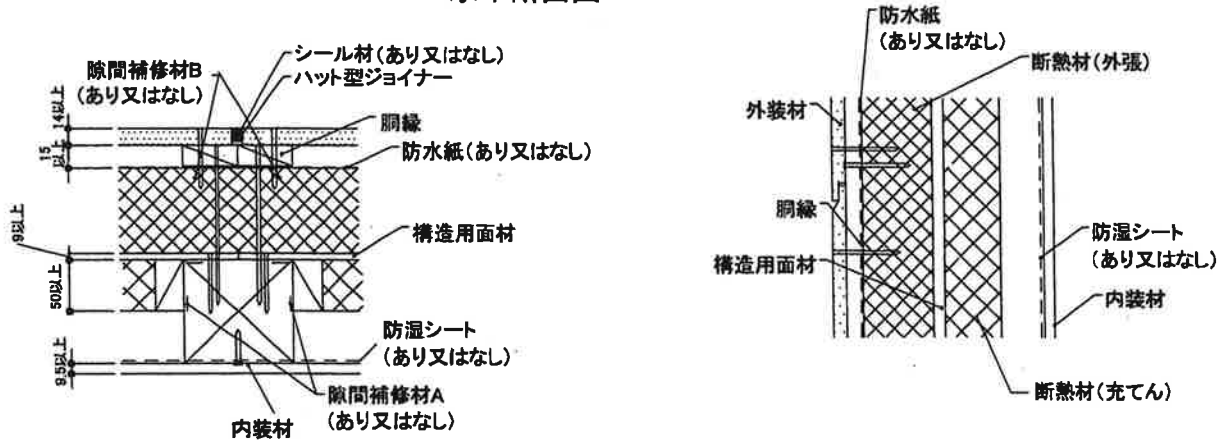
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



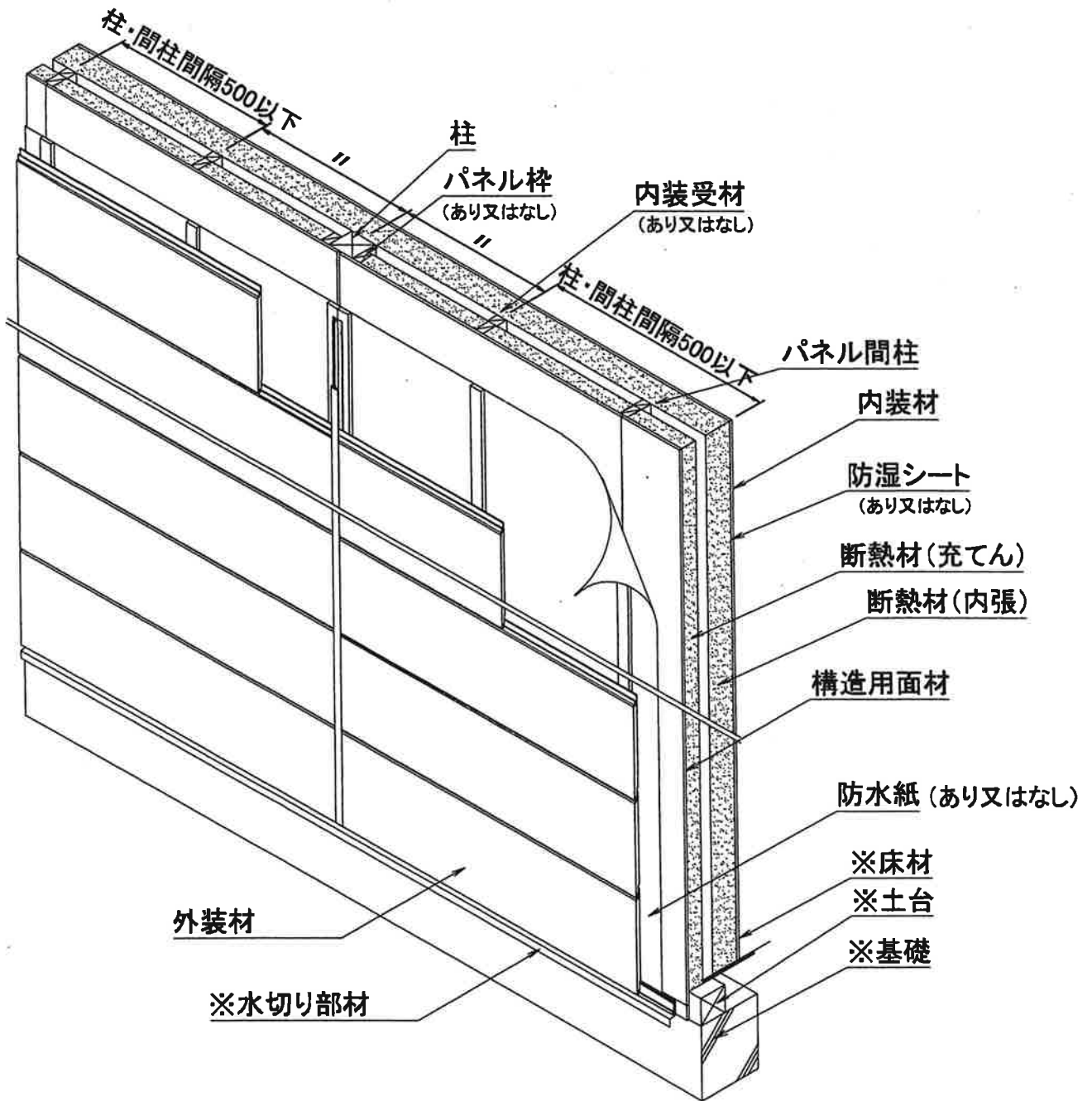
水平断面図



詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない

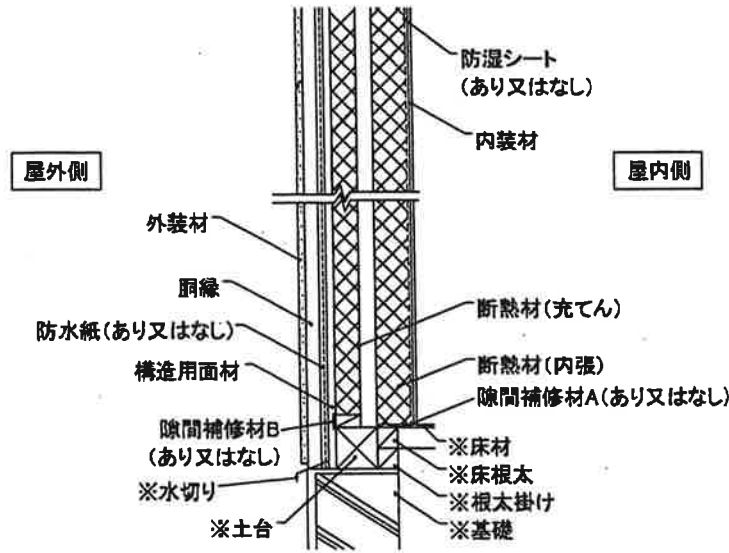
外装材横張・大壁（断熱材：充填+内張）の場合



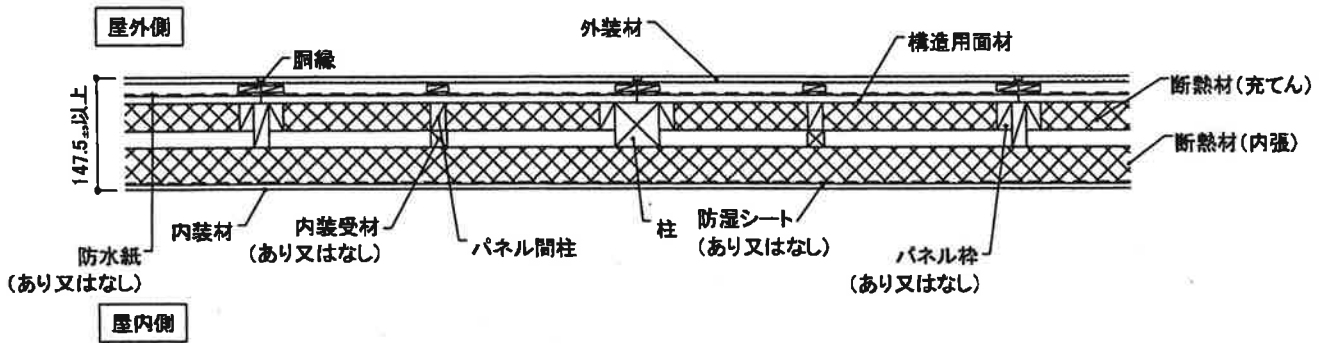
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

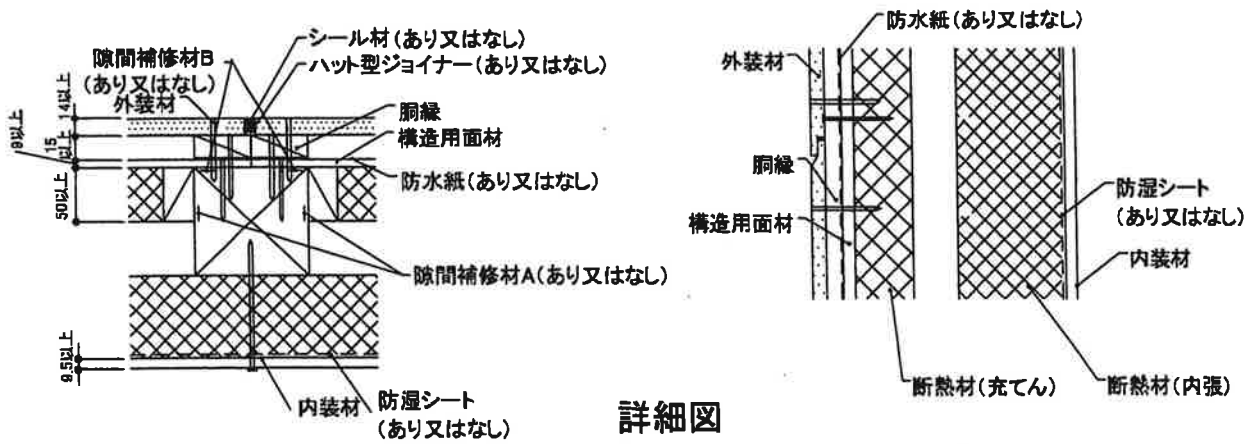
※：本評価内容に含まない



鉛直断面図



水平断面図

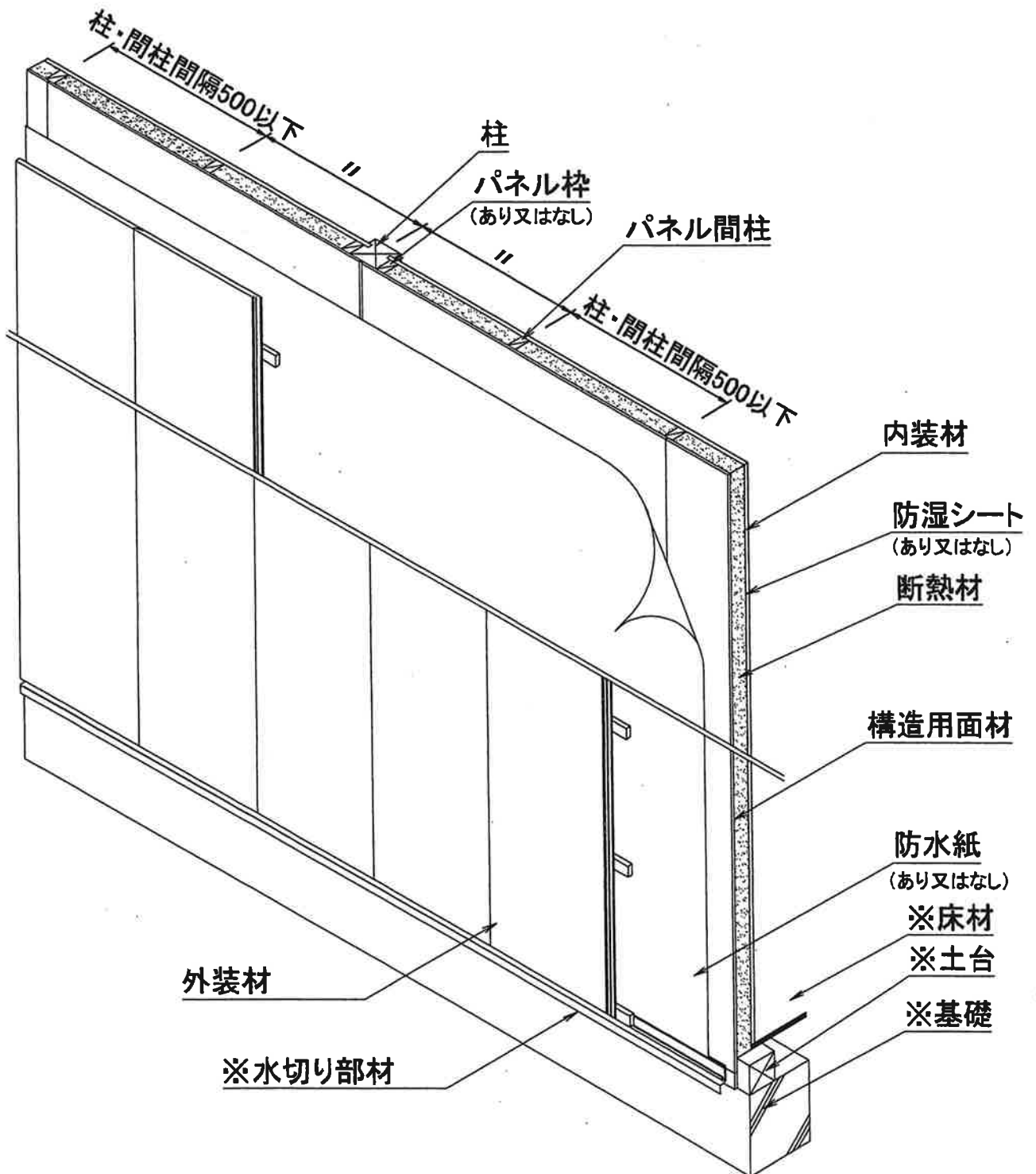


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

外装材縦張・真壁(欠き込みあり)の場合

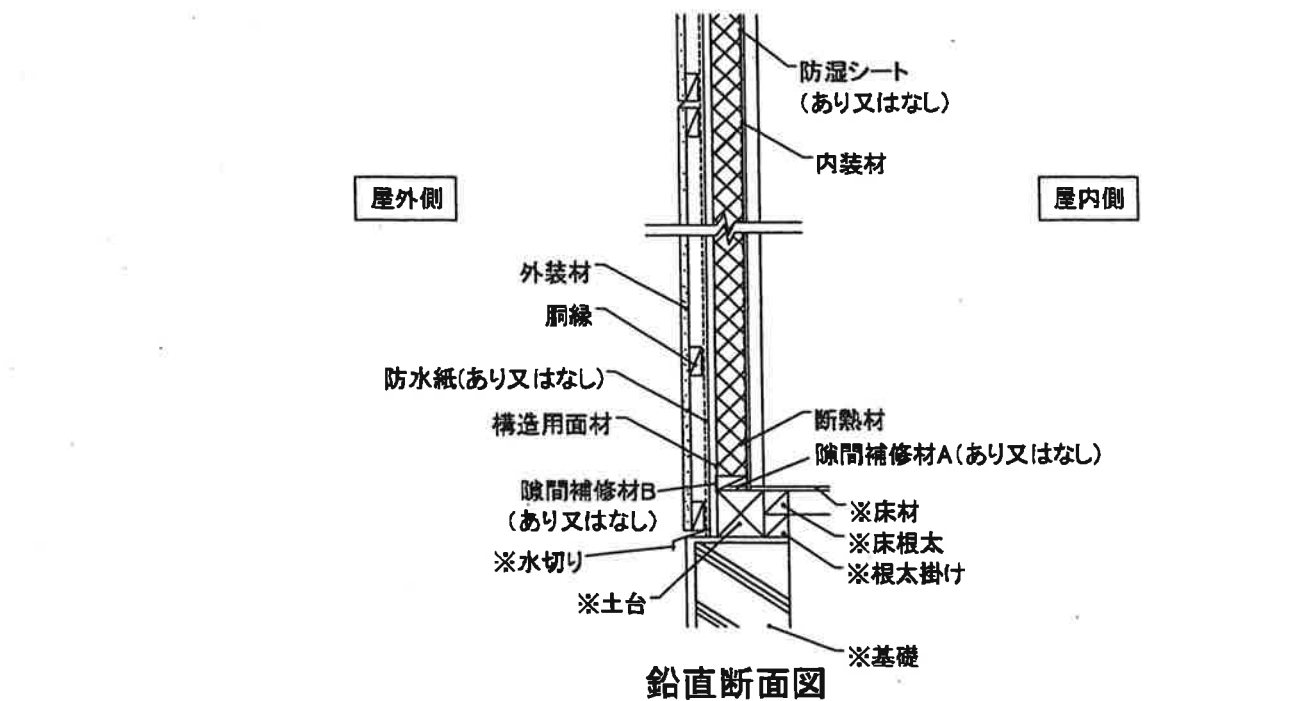


透視図

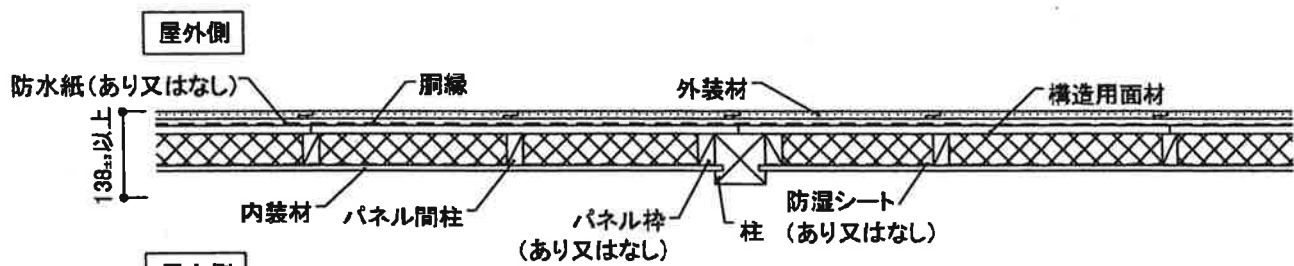
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

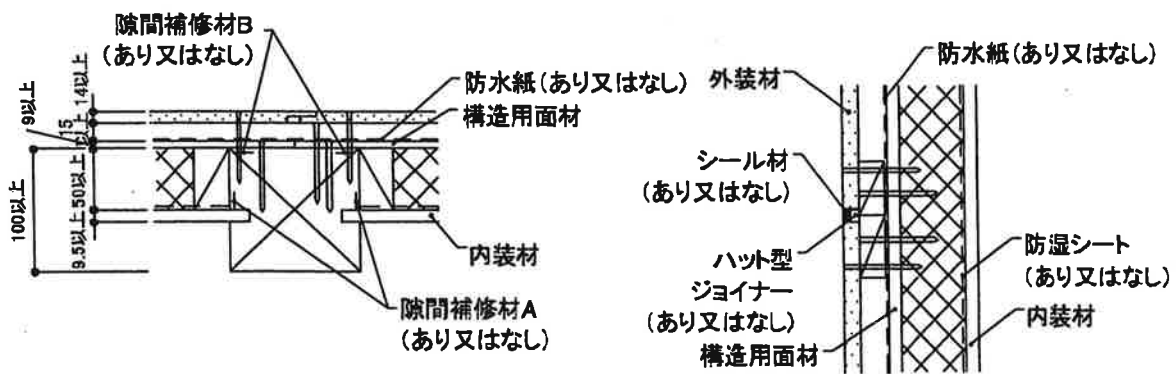
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



水平断面図

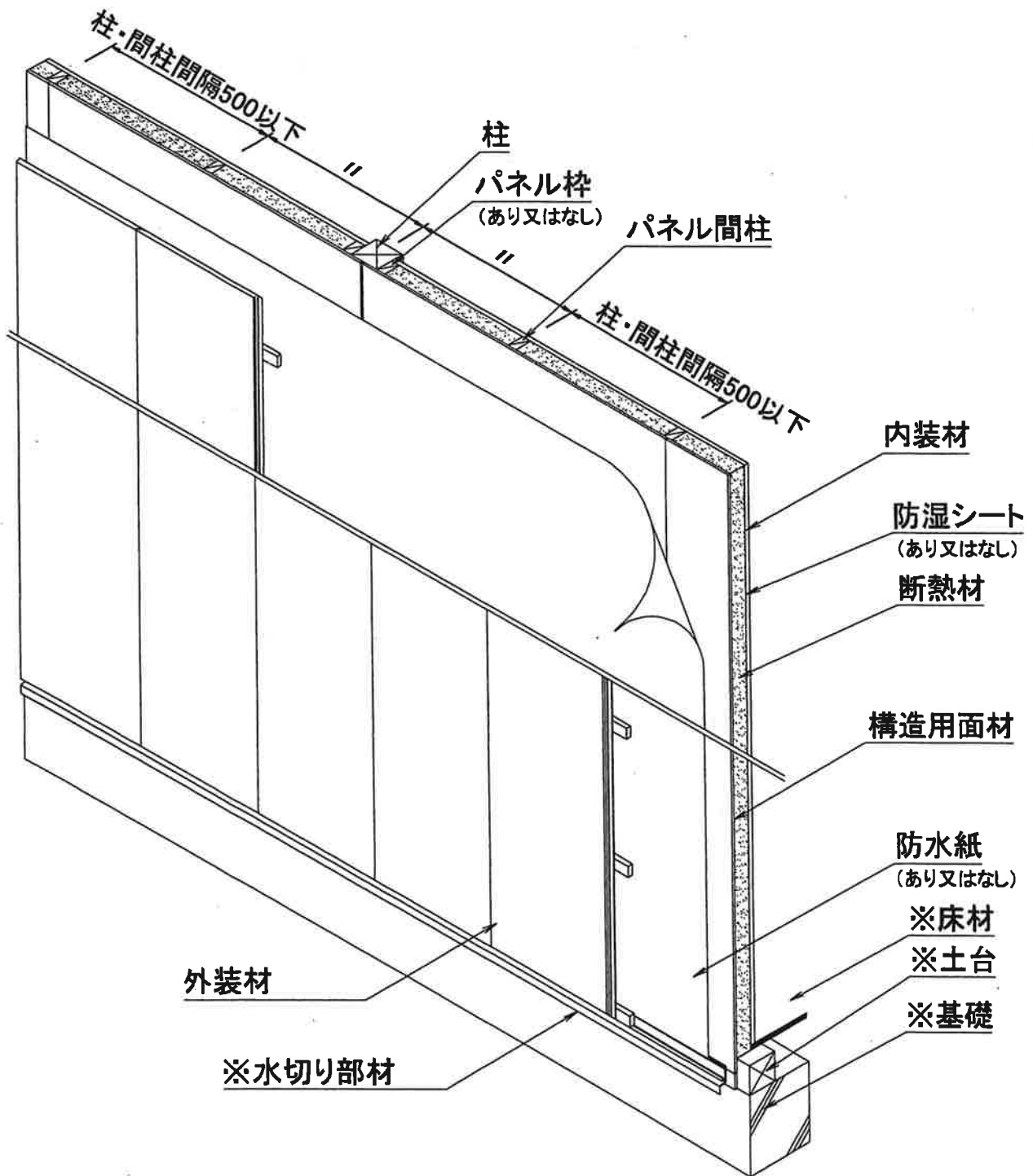


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

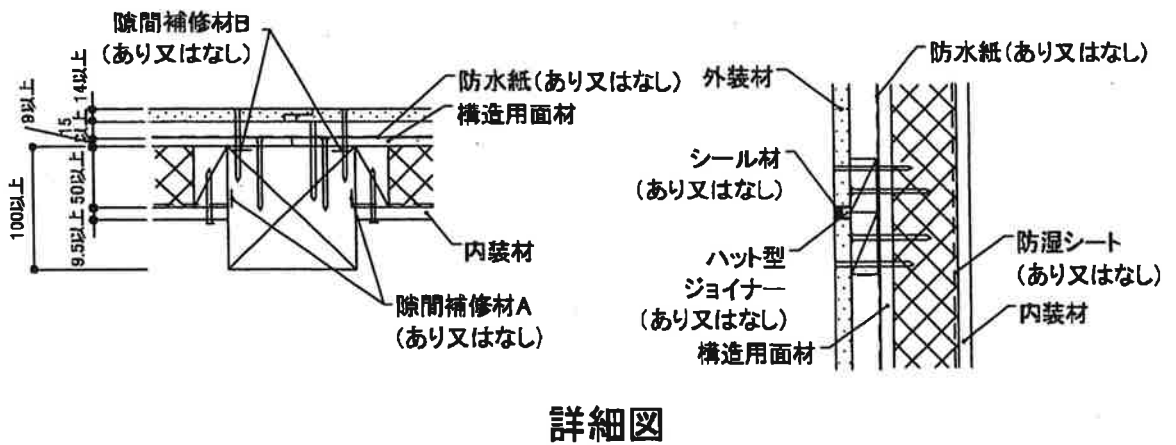
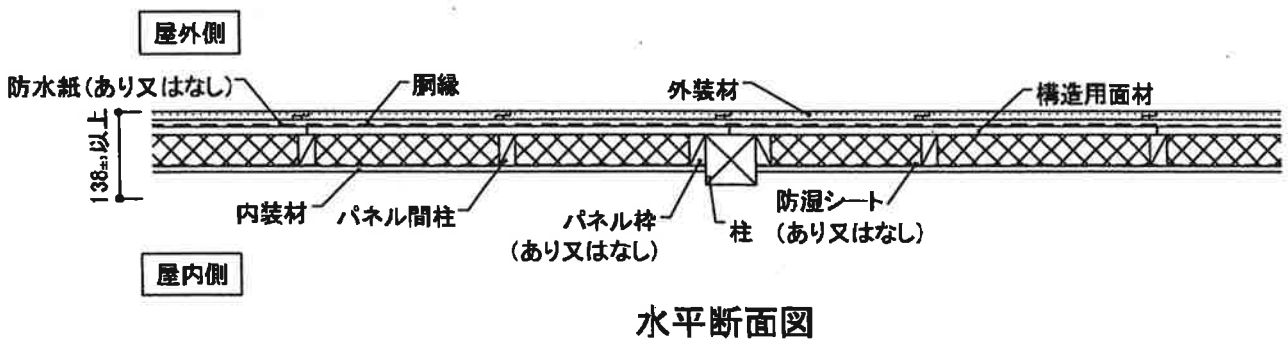
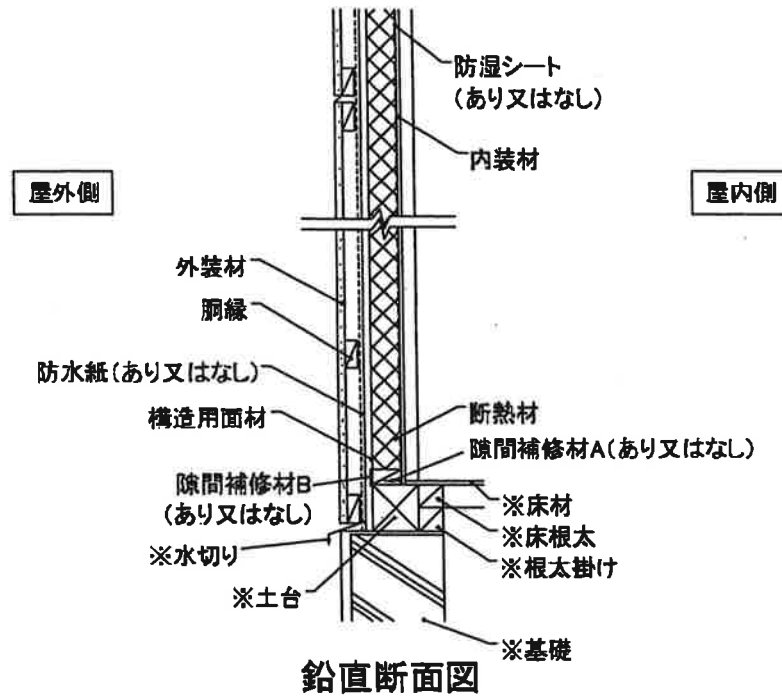
外装材縦張・真壁 (欠き込みなし)の場合



透視図

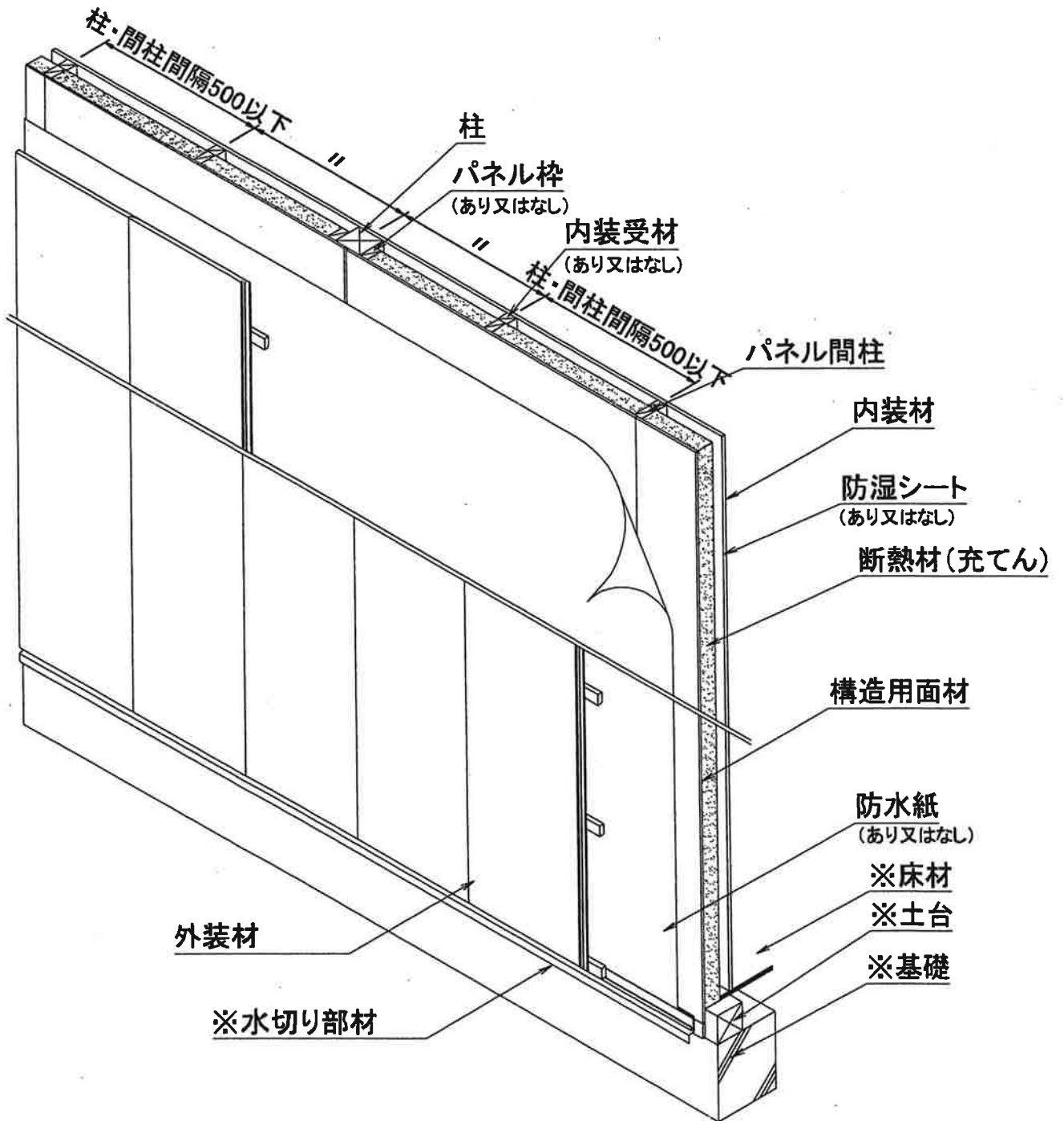
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない



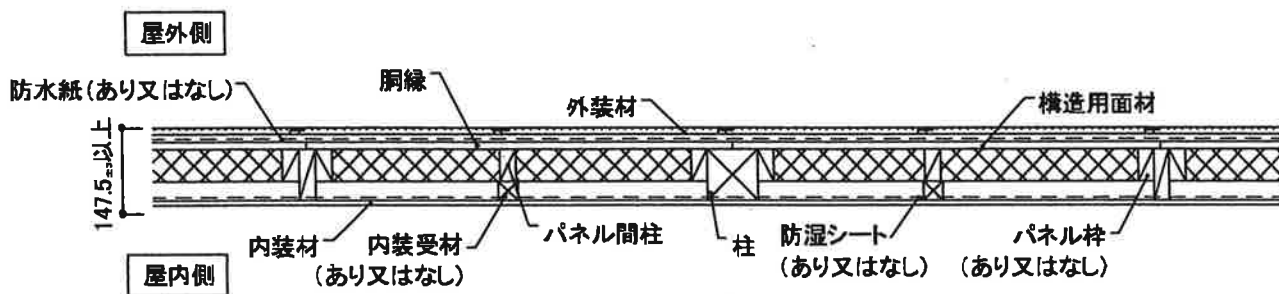
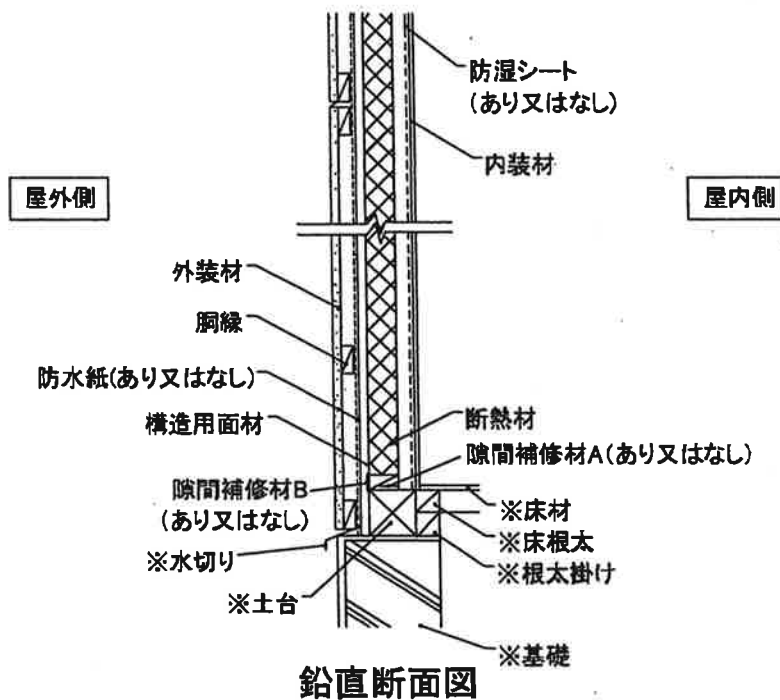
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない

外装材縦張・大壁の場合

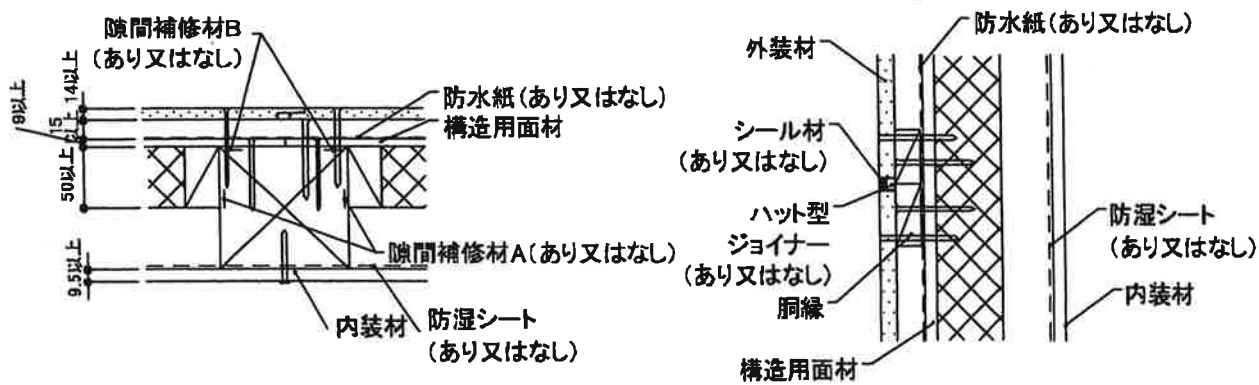


透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない



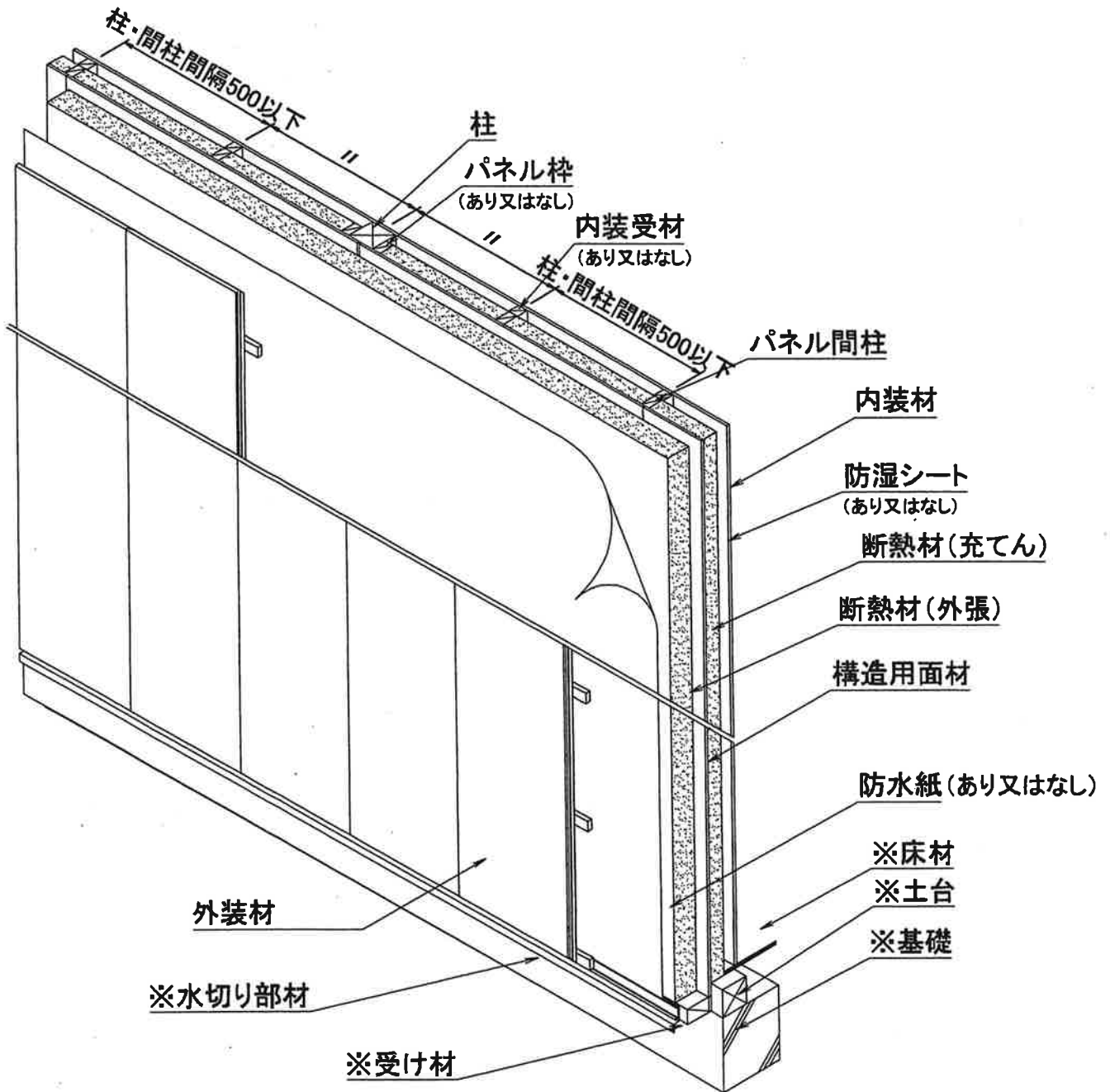
水平断面図



詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

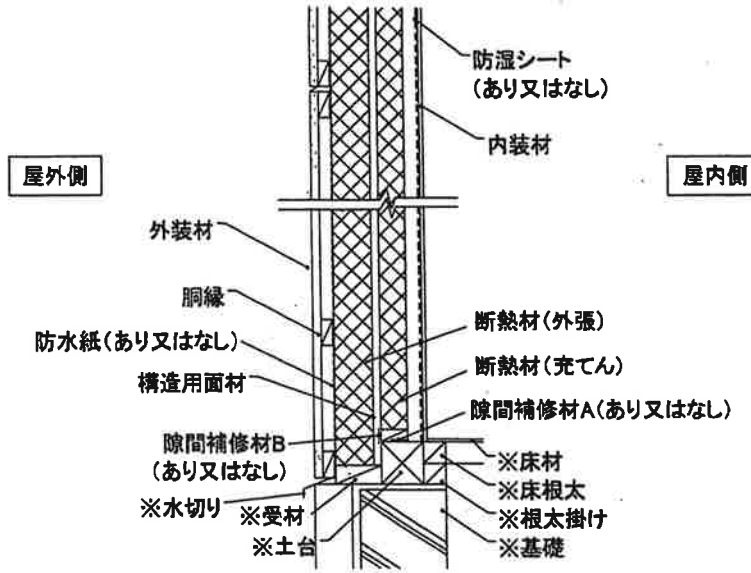


透視図

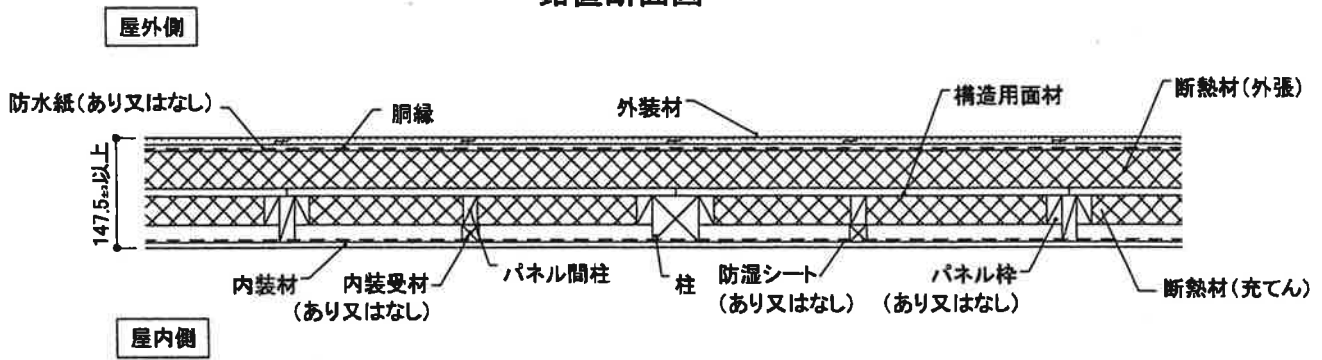
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

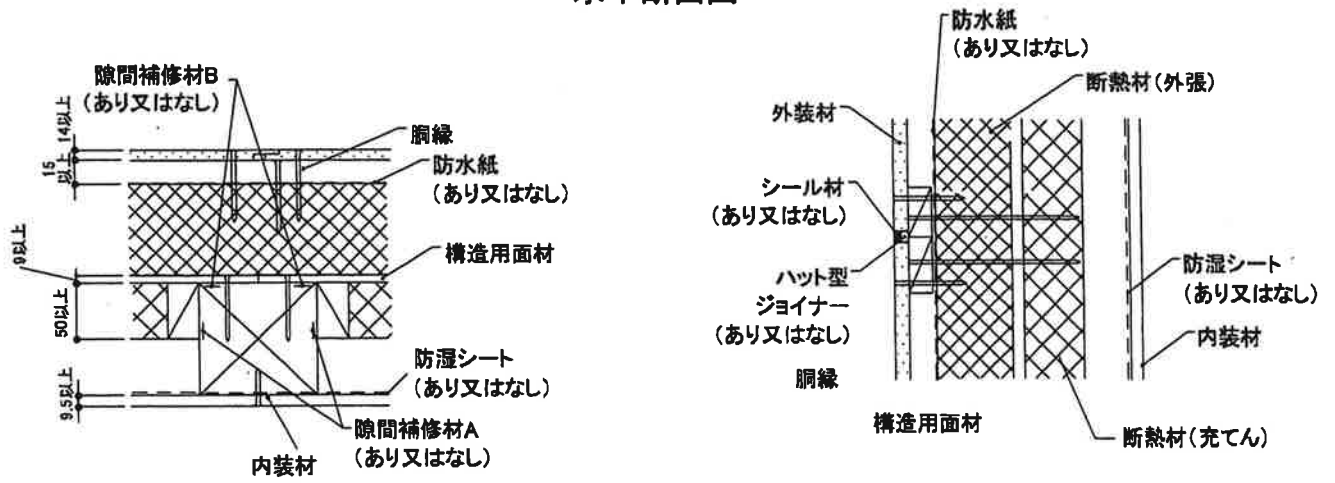
(寸法単位：mm)



鉛直断面図

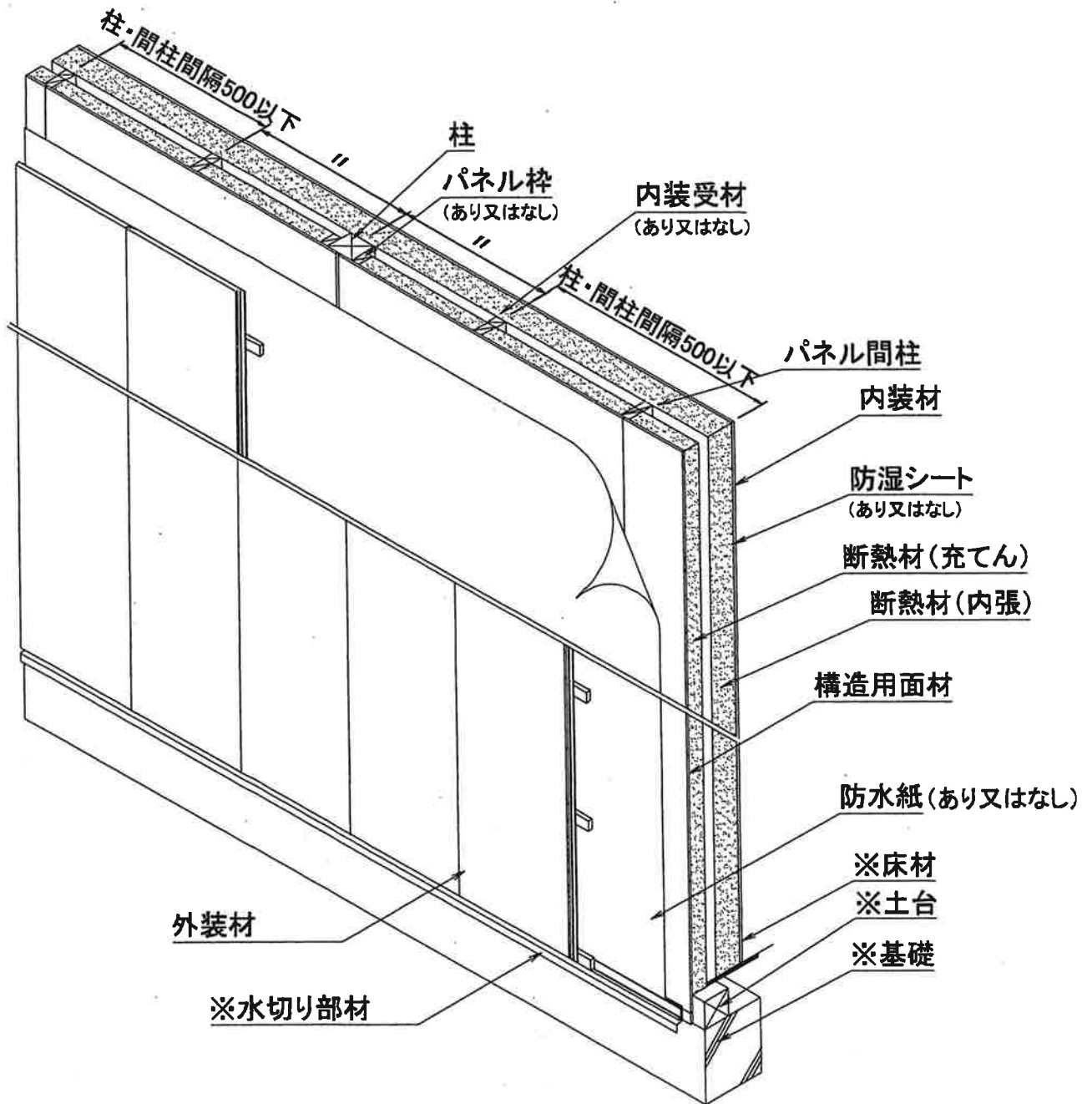


水平断面図



詳細図

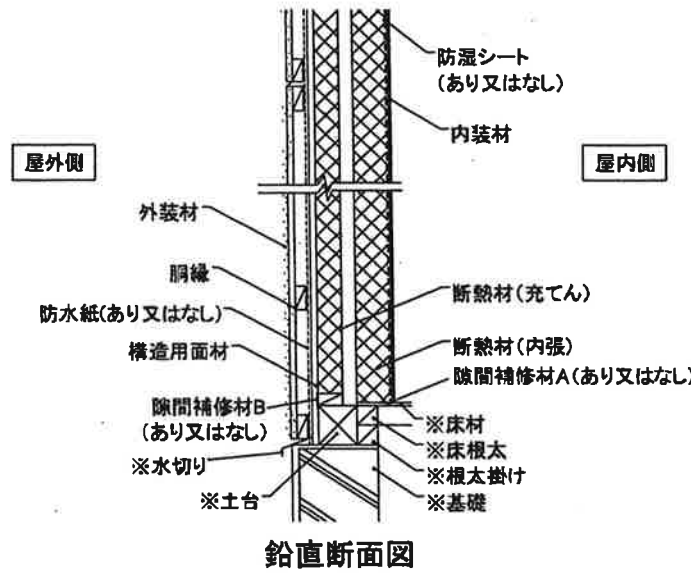
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない



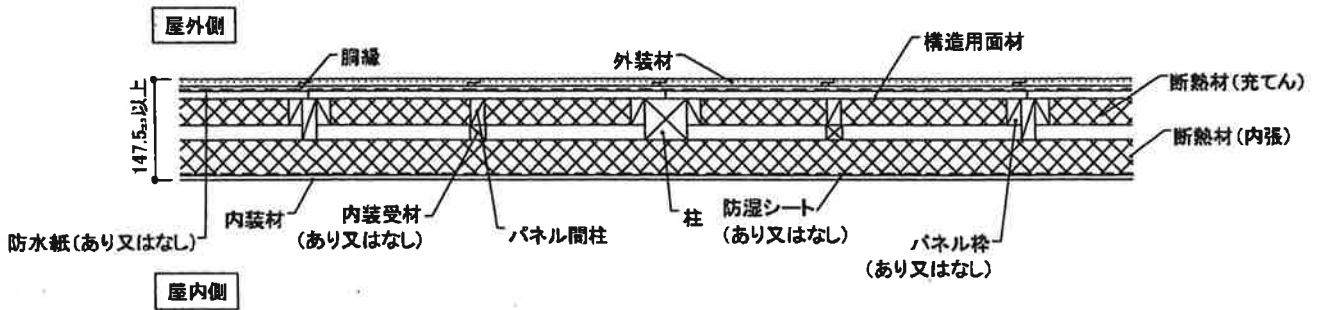
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

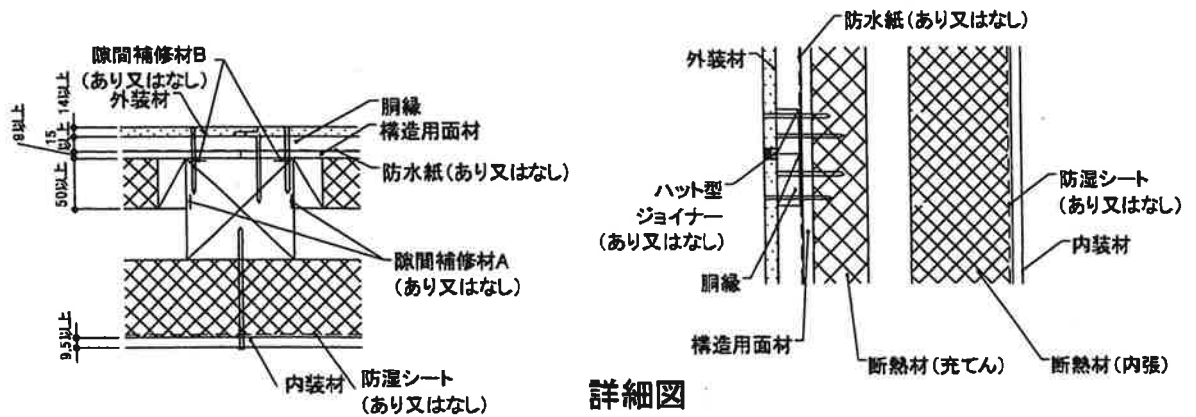
※：本評価内容に含まない



鉛直断面図

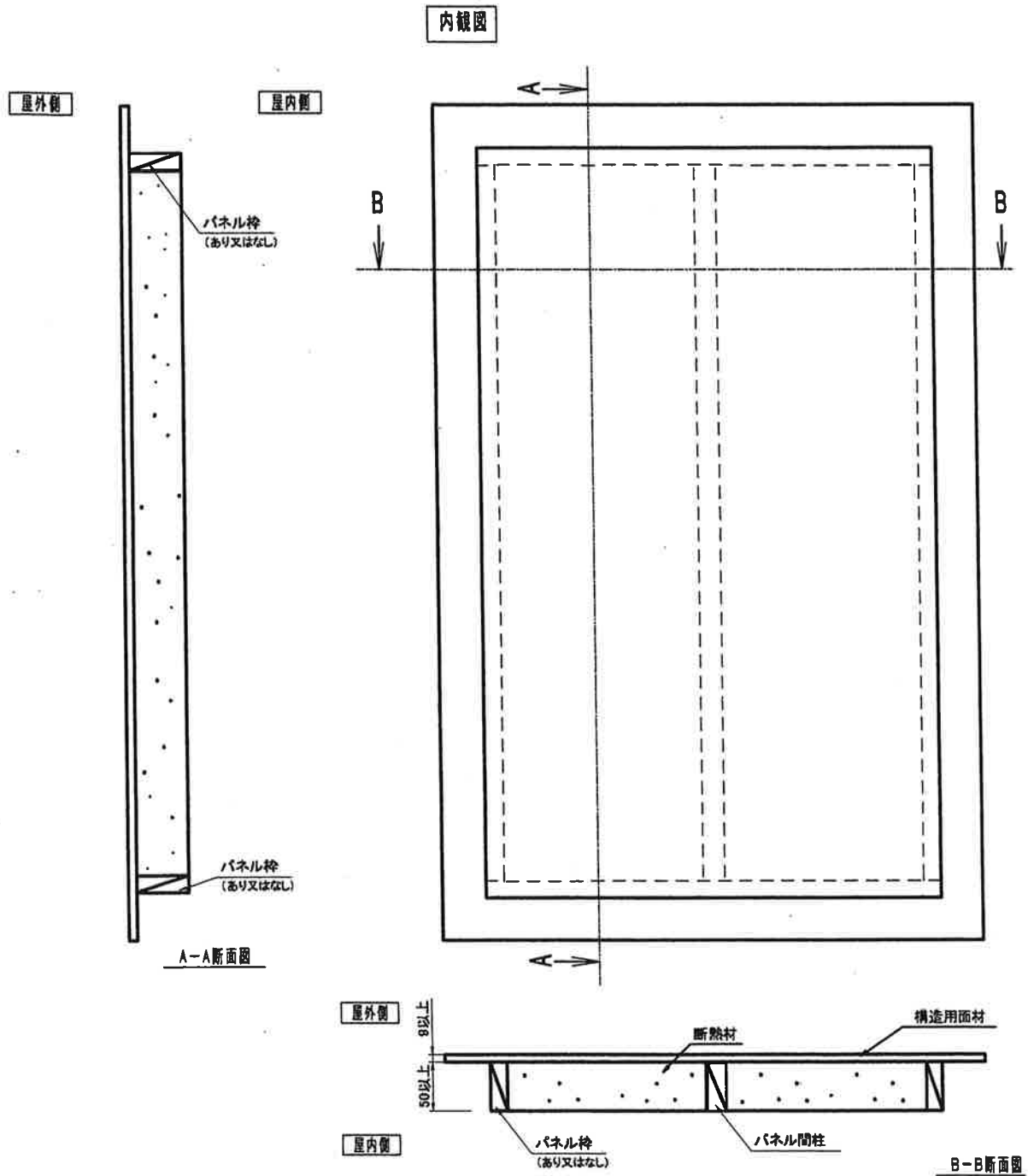


水平断面図



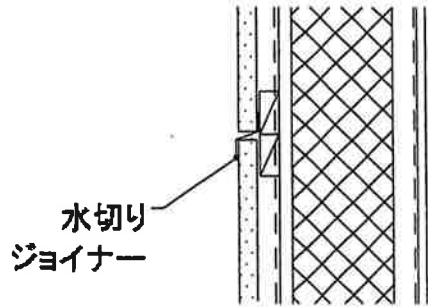
詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
 ※：本評価内容に含まない



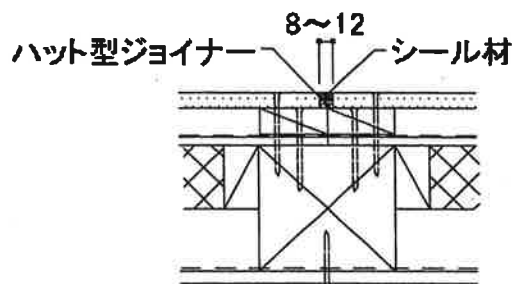
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
パネル間柱は、パネル内包タイプと現場施工タイプがある

水切り目地

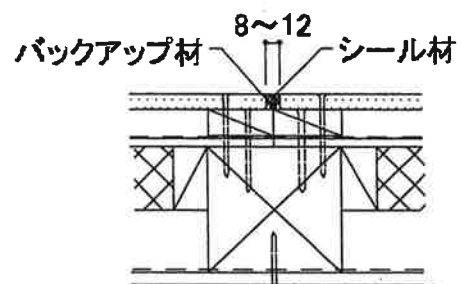


※縦張りに限る

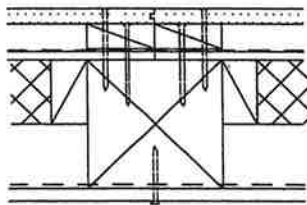
ハット型ジョイナー +シーリング目地



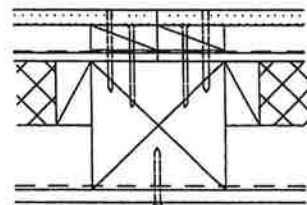
シーリング目地



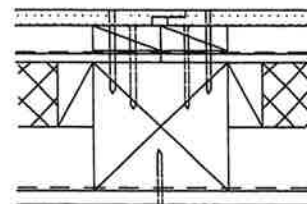
本実目地



突付け目地



合いじゃくり目地



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

〈施工手順〉

(1) 前工程

- ①基礎を施工する。
- ②基礎天端の所定のアンカーボルト位置に土台を配置し、固定する。
- ③床を施工する。

(2) 断熱パネル取付け (断熱パネル 硬質ウレタンフォーム)

- ①状況に応じて表面紙(70g/m以上)を用いた断熱パネルを割付図に従い、所定の位置に配置する。
- ②柱間に断熱パネルをはめる。
- ③断熱パネルの構成部材である外側面材を、柱、その他の垂直部材、及び土台、胴差、その他の横架材に、くぎまたはねじで留付ける。
 - a. くぎで留付ける場合は、くぎを間隔 150 mm以下で打ち付ける。
 - b. くぎとねじ併用で留付ける場合は、くぎを間隔 150 mm以下で打ち付け、ねじは間隔 300 mm以下で留付けをする。
- ④外張断熱を施工する場合、(防水紙施工後) 胴縁の上から 500mm ピッチ以下の間隔でくぎまたはねじで下地に固定する。
- ⑤内張断熱を施工する場合、その上からせっこうボードを周辺部 150 mm以下・中間部 200 mm以下の間隔で柱・間柱等にくぎまたはねじを用いて留付ける。

(3) サイディングの取付け

サイディングの張方には、縦張、横張がある。

1) サイディング留付け用下地

- ①防水紙：横張を原則とし、重ね代は縦 90mm 以上、横 150mm 以上を確保する
- ② 水切り：土台の下端に合わせ、水平に取付ける
- ③ 胴 縁：500mm ピッチ以下で下地に取付ける
※外張断熱の場合、パネル固定も兼ねる。

2) サイディングの留付け

- くぎ又はねじ留め
- 外装材働き幅間隔以下で留付ける

3) 目地処理方法

①合いじゃくり・本実目地

目地部におけるサイディングの重ね代および隙間を確保し、上実・下実のいずれかの端部は相互に密着させる。

②水切り目地

- ・目地部には、胴縁等の受材があること。
- ・目地幅は 10mm 以下とする。
- ・水切りは鋼板製とし、受材にくぎまたはねじで留付け、サイディングと 20mm 以上の重ね代をとる。

③シーリング目地

- ・目地部には、胴縁等の受材があること。
- ・目地幅は 8~12mm とし、必要に応じて、バックアップ材を入れる。

④突付け目地

- ・目地部には、胴縁等の受材があること。

(4) 防湿シートの取付け

必要に応じ、防湿シートをたるみ、しわ等が生じないように柱・間柱等に留付ける。

(5) 内装材の取付け

1) せっこうボード取付け方法

せっこうボードの取付けは、周辺部 150 mm以下・中間部 200 mm以下の間隔で柱・間柱等に留付ける。

2) 留付け材

せっこうボードの留付けは、くぎまたはねじを用いて留付ける。